

**滋賀県放課後児童クラブ実態調査報告書**  
**概要版**

**令和3年10月**

**滋賀県**



# I. 調査概要

## (1) 調査目的

放課後児童クラブの現場の職場環境の実態、放課後児童支援員等として働くことへの不安や職場等に望むことなど幅広く実態を調査・分析し、今後の効果的な放課後児童クラブの質の向上の取組みに繋げることを目的として実施した。

## (2) 調査設計

- ① 調査地域：滋賀県内全域
- ② 調査対象：
  - 〔1〕 放課後児童クラブ運営者調査  
県内に所在する放課後児童クラブ事業者 376 施設
  - 〔2〕 放課後児童支援員調査  
県内放課後児童クラブに勤務する支援員 1,313 人
  - 〔3〕 補助員調査  
県内放課後児童クラブに勤務する補助員 1,436 人
  - 〔4〕 その他事務職員調査  
県内放課後児童クラブに勤務するその他事務職員 61 人
- ③ 調査方法：郵送配布、郵送回収
- ④ 調査期間：令和3年6月14日（月）から令和3年6月30日（水）

## (3) 回収結果

区分	配付数	有効回答数	有効回答率
〔1〕 放課後児童クラブ施設調査	376 件	232 件	61.7%
〔2〕 放課後児童支援員調査	1,313 件	889 件	67.7%
〔3〕 補助員調査	1,436 件	746 件	51.9%
〔4〕 その他事務職員調査	61 件	31 件	50.8%

## (4) 調査結果の見方

- ① 回答は、各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（%）で示し、小数点第2位を四捨五入した。（比率の合計が100.0%にならない場合がある。）
- ② コンピュータ入力の都合上、図表において、回答選択肢の見出しを簡略化している場合がある。
- ③ 図表において、回答選択肢を簡略化して表記している場合がある。

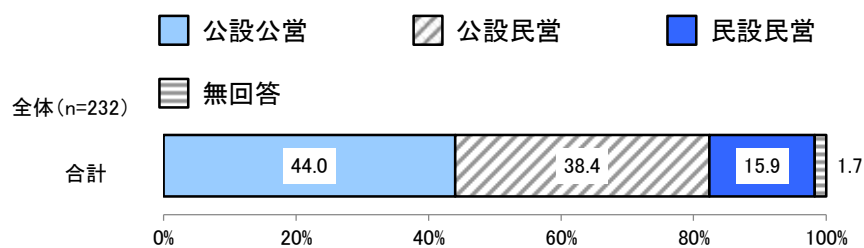
## Ⅱ. 調査結果の概要

### 1. 児童クラブ施設調査

#### (1) 回答者の基本属性

- ・ 施設の種類の、「公設公営」が44.0%で最も多く、次いで「公設民営」が38.4%が多い

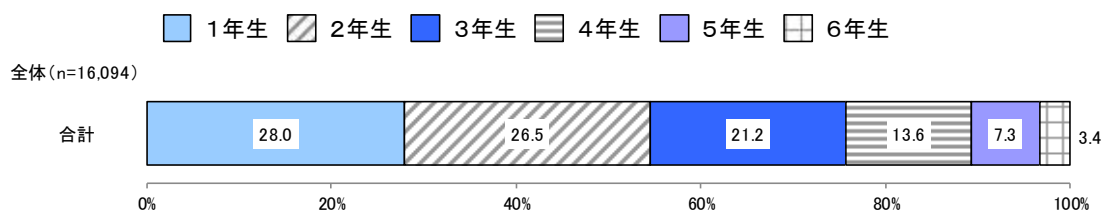
#### ①施設の種類の



(2) 支援単位/利用定員/登録児童数について

- 支援の単位数については、232 施設、464 支援単位、1 施設当たり平均 2.0 支援単位となっており、120 施設が複数の支援単位となっている
- 登録児童数の内訳は、「1年生」が 28.0%で最も多く、次いで「2年生」が 26.5%が多い
- 1日当たり平均利用者数は、「21～30人」が 23.1%で最も多く、次いで「31～40人」が 16.4%で多く、464 支援単位中、10.7%が 41人以上となっている

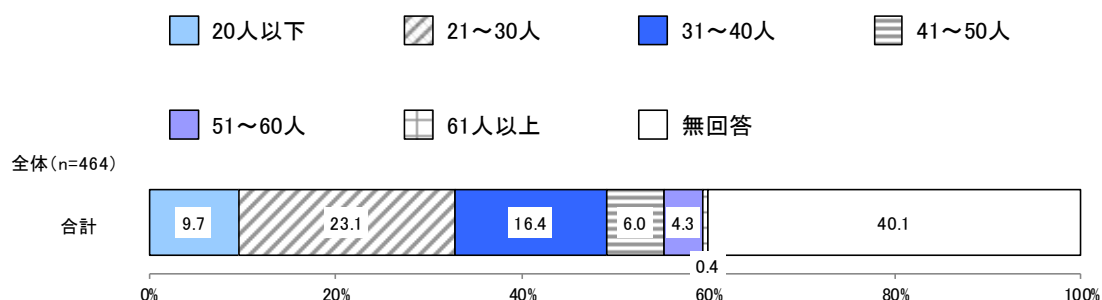
①登録児童数の内訳



◆施設の種類の別みた登録児童数内訳

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	全体
公設公営	2,677 人 28.8 %	2,535 人 27.2 %	1,941 人 20.9 %	1,260 人 13.5 %	632 人 6.8 %	262 人 2.8 %	9,307 人 100.0 %
公設民営	1,324 人 26.1 %	1,273 人 25.1 %	1,088 人 21.4 %	728 人 14.3 %	433 人 8.5 %	230 人 4.5 %	5,076 人 100.0 %
民設民営	428 人 30.2 %	385 人 27.2 %	314 人 22.1 %	157 人 11.1 %	86 人 6.1 %	48 人 3.4 %	1,418 人 100.0 %

②1日当たり平均利用者数



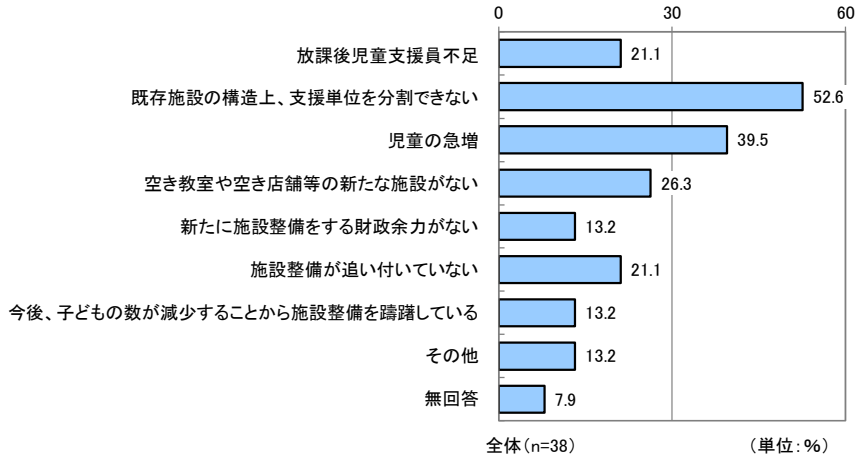
◆施設の種類の別みた1日当たり平均利用者数

	20人以下	21～30人	31～40人	41～50人	51～60人	61人以上	無回答	合計
公設公営	18 6.8 %	31 11.7 %	27 10.2 %	11 4.2 %	7 2.7 %	0 0.0 %	170 64.4 %	264 100.0 %
公設民営	19 12.8 %	64 43.0 %	34 22.8 %	15 10.1 %	12 8.1 %	1 0.7 %	4 2.7 %	149 100.0 %
民設民営	8 18.6 %	12 27.9 %	13 30.2 %	2 4.7 %	1 2.3 %	1 2.3 %	6 14.0 %	43 100.0 %
無回答	0 0.0 %	0 0.0 %	2 25.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %	6 75.0 %	8 100.0 %

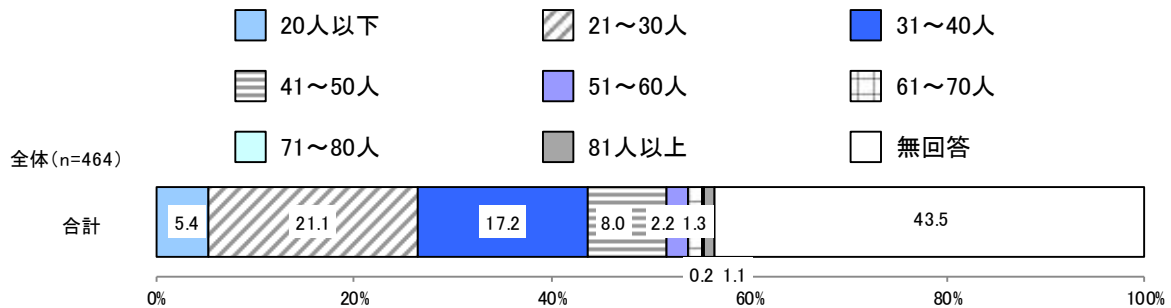
【1 児童クラブ施設調査】

- 41人以上の支援単位がある理由は、「既存施設の構造上、支援単位を分割できない」が52.6%で最も多く、次いで「児童の急増」が39.5%が多い
- 最も利用者が多かった日の利用者数は「21～30人」が21.1%で最も多く、「31～40人」が17.2%で続く。41人以上の割合は12.8%となっている

③ 41人以上の支援単位がある理由



④ 最も利用者が多かった日の利用者数



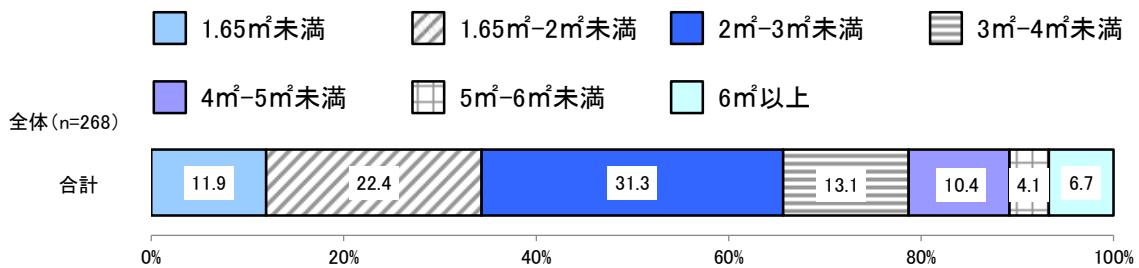
◆施設の種別別にみた最も利用者が多かった日の利用者数

	20人以下	21～30人	31～40人	41～50人	51～60人	61～70人	71人以上	81人以上	無回答	合計
公設公営	10 3.8 %	30 11.4 %	38 14.4 %	14 5.3 %	3 1.1 %	4 1.5 %	0 0.0 %	0 0.0 %	165 62.5 %	264 100.0 %
公設民営	8 5.4 %	57 38.3 %	33 22.1 %	19 12.8 %	7 4.7 %	1 0.7 %	1 0.7 %	4 2.7 %	19 12.8 %	149 100.0 %
民設民営	7 16.3 %	10 23.3 %	9 20.9 %	3 7.0 %	0 0.0 %	1 2.3 %	0 0.0 %	1 2.3 %	12 27.9 %	43 100.0 %
無回答	0 0.0 %	1 12.5 %	0 0.0 %	1 12.5 %	0 0.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %	6 75.0 %	8 100.0 %

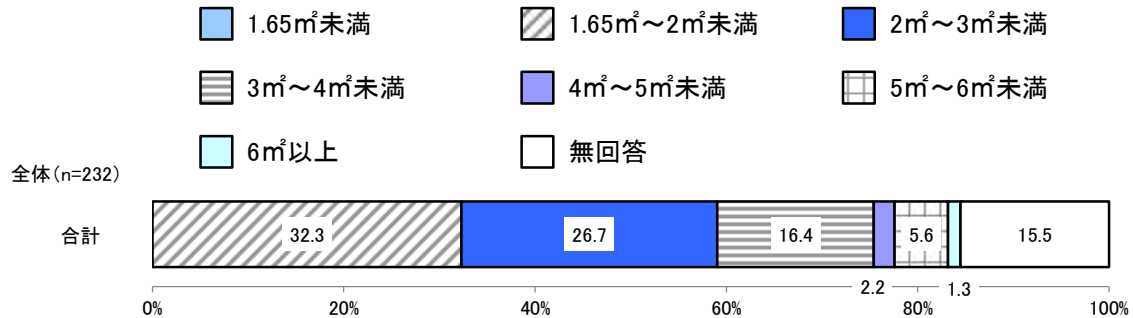
(3) 施設の面積等

- 児童1人当たりの専用区画面積は、「2㎡～3㎡未満」が31.3%で最も多く、「1.65㎡～2㎡未満」が22.4%、「3㎡～4㎡未満」が13.1%と続く。「1.65㎡未満」は11.9%となっている
- 児童1人当たりの専用区画面積の理想は、「1.65㎡～2㎡未満」が32.3%で最も多く、次いで「2㎡～3㎡未満」が26.7%、「3㎡～4㎡未満」が16.4%となっている
- 児童1人当たりの専用区画面積で1.65㎡未満の支援単位がある理由は、「空き教室や空き店舗等の新たな設備がない」が47.6%で最も多く、次いで「児童の急増」が42.9%、「既存施設の構造上、分割できない」が38.1%となっている

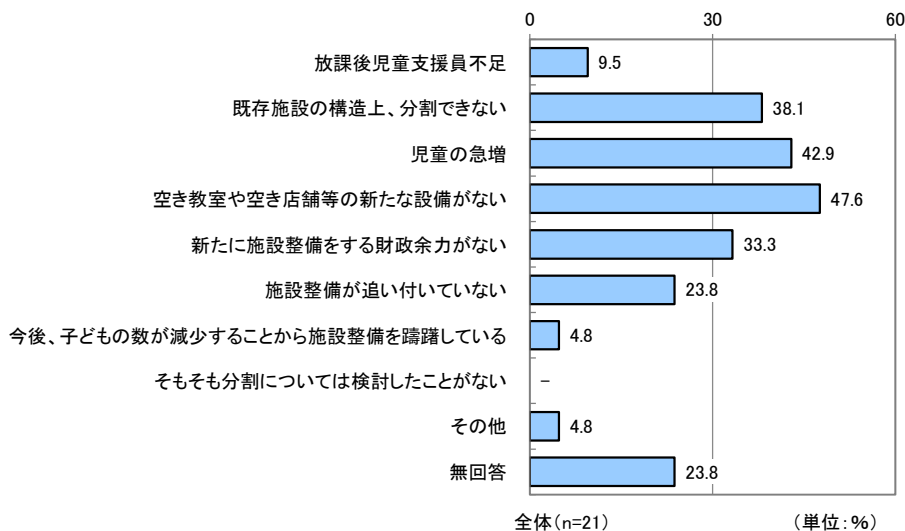
① 児童1人当たりの専用区画面積



② 児童1人当たりの専用区画面積の理想



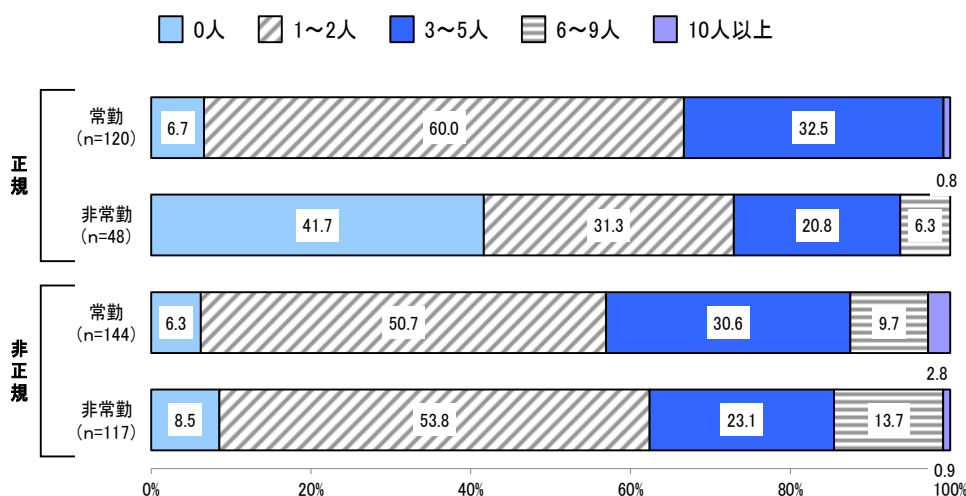
③ 1. 65㎡未満の支援単位がある理由



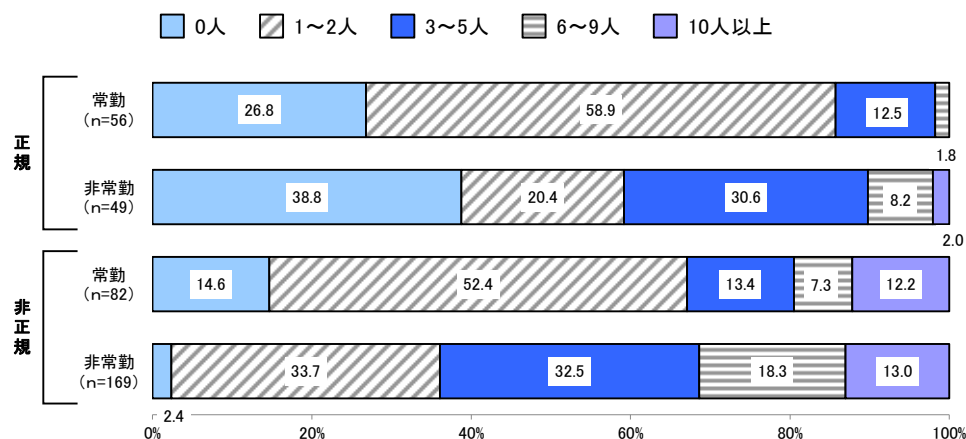
### （4）施設の職員体制

- 放課後児童支援員の職員数は、常勤では正規、非正規とも「1～2人」が5割～6割で最も多く（正規60.0%、非正規50.7%）、次いで「3～5人」が3割台となっている（正規32.5%、非正規30.6%）。非常勤では、正規では「0人」が41.7%で最も多い。非正規では、「1～2人」が53.8%で最も多く、次いで「3～5人」が23.1%となっている
- 補助員の職員数は、正規では常勤の「1～2人」が58.9%、非常勤の「0人」が38.8%で最も多く、非正規では常勤・非常勤ともに「1～2人」が最も多く（常勤52.4%、非常勤33.7%）、「10人以上」は正規より多くなっている（常勤12.2%、非常勤13.0%）

#### ①-1 放課後児童支援員の職員数



#### ①-2 補助員の職員数



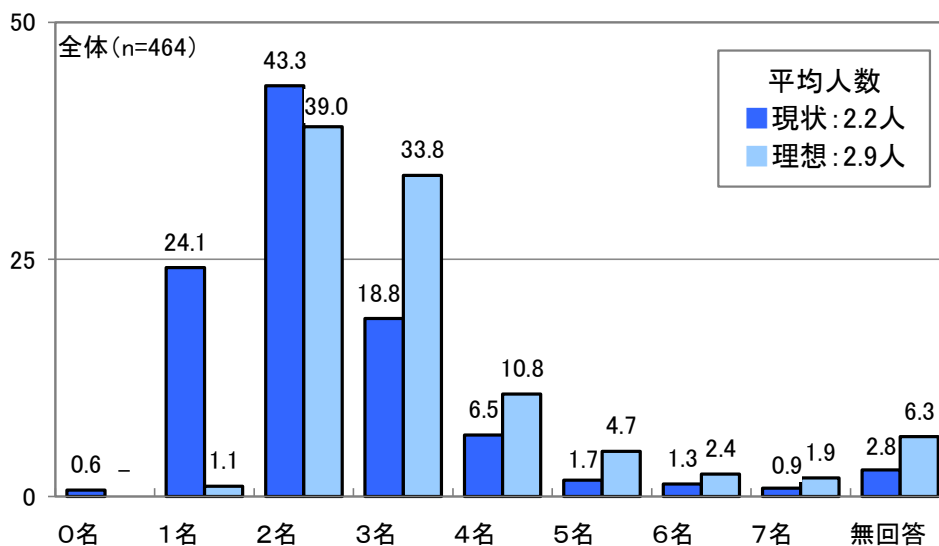


【1 児童クラブ施設調査】

- 放課後児童支援員の配置状況は、現状は「2名」が43.3%で最も多く、「1名」が24.1%、「3名」が18.8%と続く。理想では、「2名」が39.0%で最も多く、「3名」が33.8%と続く

②-1 放課後児童支援員の配置状況

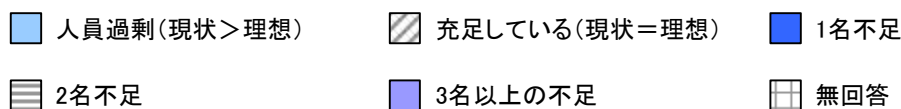
(単位:%)



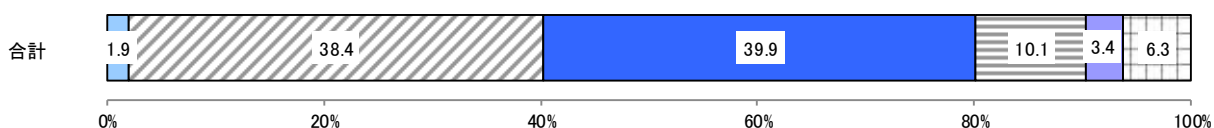
【1 児童クラブ施設調査】

- 支援員の過不足状況は、「1名不足」が39.9%で最も多く、「充足している（現状＝理想）」が38.4%と続く
- 放課後児童支援員を2名以上配置できていない理由は、「放課後児童支援員不足」が76.9%で最も多く、次いで「求人に応募がない」が49.2%が多い

②-2 支援員の過不足状況



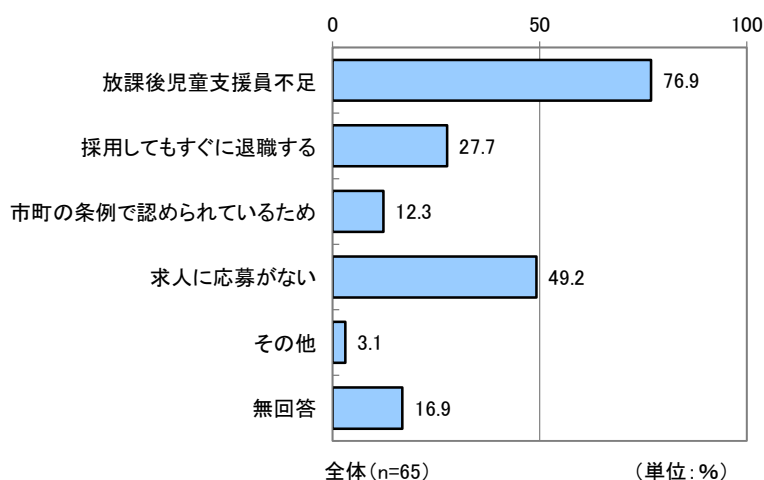
全体(n=464)



◆施設の種類別にみた支援員の過不足状況

	人員過剰 (現状>理想)	充足している (現状=理想)	1名不足	2名不足	3名以上の不足	無回答	合計
公設公営	2.7 %	45.8 %	33.0 %	8.0 %	3.8 %	6.8 %	n=264
公設民営	1.3 %	30.2 %	47.7 %	12.1 %	3.3 %	5.4 %	n=149
民設民営	0.0 %	25.6 %	55.8 %	11.6 %	2.3 %	4.7 %	n=43
無回答	0.0 %	12.5 %	37.5 %	37.5 %	0.0 %	12.5 %	n=8

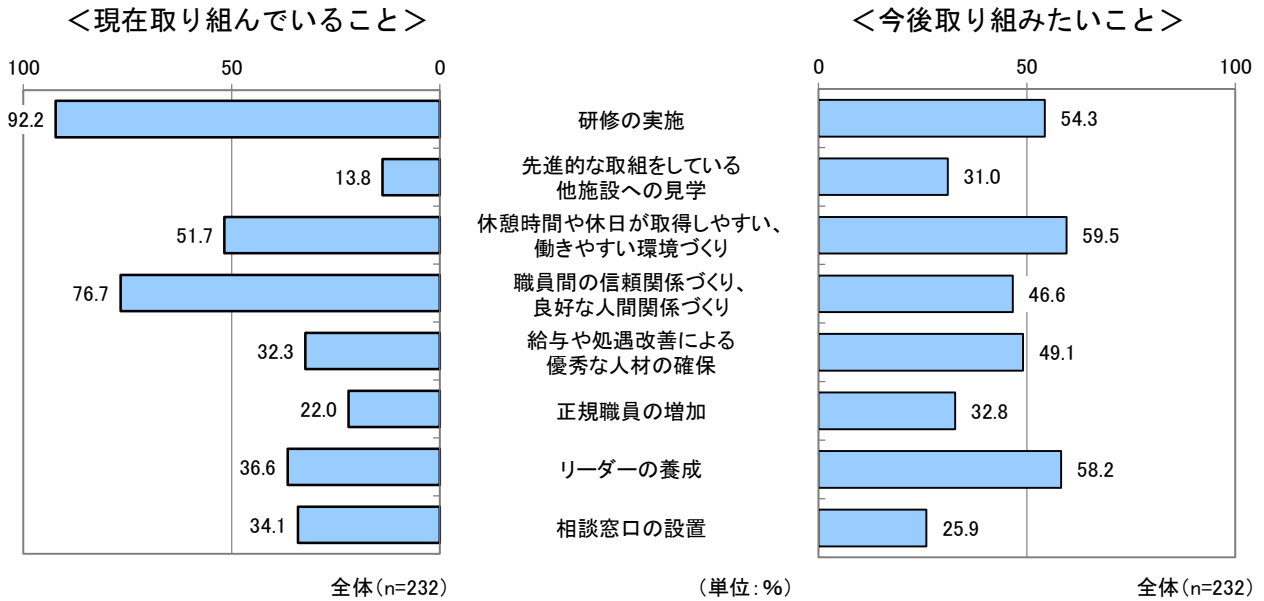
②-3 放課後児童支援員を2名以上配置できていない理由



【1 児童クラブ施設調査】

- 職員の資質向上の取り組みについて、現在取り組んでいることをみると、「研修の実施」が92.2%で最も多く、次いで「職員間の信頼関係づくり、良好な人間関係づくり」が76.7%、「休憩時間や休日取得しやすい、働きやすい環境づくり」が51.7%となっている。今後取り組みたいことをみると、「休憩時間や休日取得しやすい、働きやすい環境づくり」が59.5%で最も多く、次いで「リーダーの養成」が58.2%、「研修の実施」が54.3%となっている

②-4 職員の資質向上の取り組み



(5) 職員定着に向けた取り組み

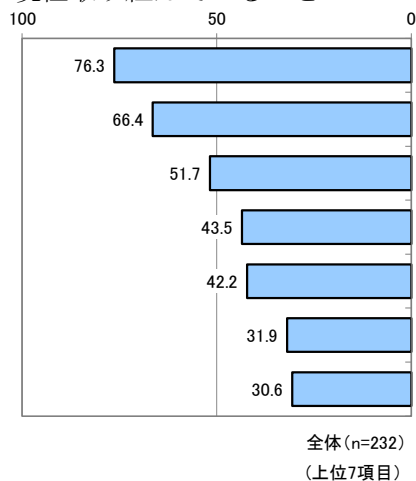
- 過去3年間に自己都合で退職した放課後児童支援員等の勤務年数別人数は、年々増加しており、令和2年は313人で平成30年の2.5倍となっている
- 職員の職場定着のため現在取り組んでいることは、「職員間のミーティングの充実」が76.3%で最も多く、次いで「職場の和やかな雰囲気づくり」が66.4%が多い。今後取り組みたいことは、「休暇を取得しやすい環境整備」が52.6%で最も多く、次いで「職場の和やかな雰囲気づくり」が42.7%が多い

①過去3年間に自己都合で退職した放課後児童支援員等の勤務年数別人数

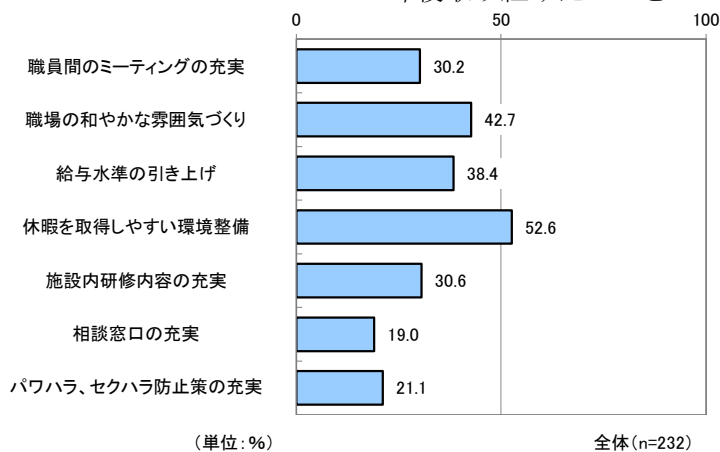
	平成30年	令和元年	令和2年
1年未満	45人 (35.7%)	95人 (37.7%)	118人 (37.7%)
1年～3年	47人 (37.3%)	107人 (42.5%)	144人 (46.0%)
3年～5年	20人 (15.9%)	23人 (9.1%)	27人 (8.6%)
5年～7年	3人 (2.4%)	9人 (3.6%)	4人 (1.3%)
7年～10年	5人 (4.0%)	3人 (1.2%)	3人 (1.0%)
10年～15年	6人 (4.8%)	9人 (3.6%)	13人 (4.2%)
15年～20年	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	1人 (0.3%)
20年以上	0人 (0.0%)	6人 (2.4%)	3人 (1.0%)
合計	126人 (100%)	252人 (100%)	313人 (100%)

②職員の職場定着のための取り組み

<現在取り組んでいること>



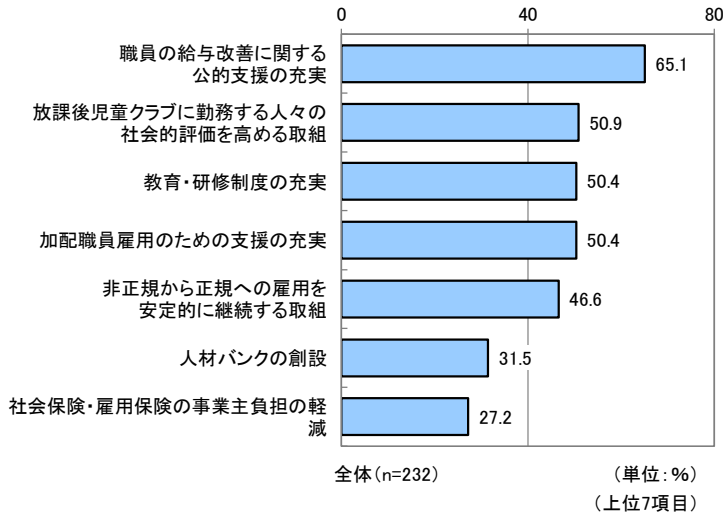
<今後取り組みたいこと>



【1 児童クラブ施設調査】

- 職員を安定的に雇用していくために望む公的支援は、「職員の給与改善に関する公的支援の充実」が 65.1%で最も多く、次いで「放課後児童クラブに勤務する人々の社会的評価を高める取組」が 50.9%で多い

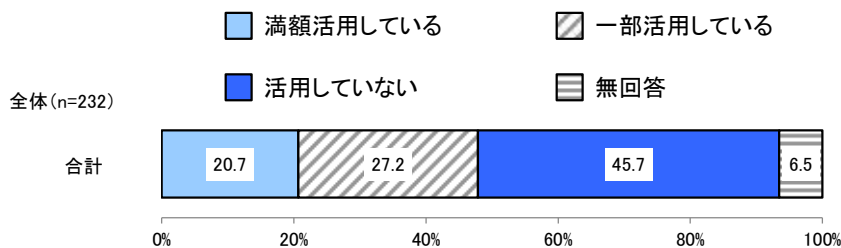
③職員を安定的に雇用していくために望む公的支援



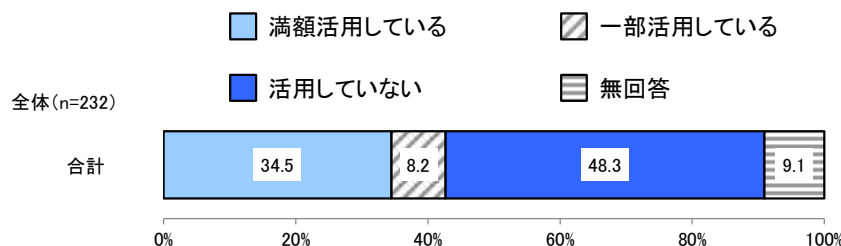
(6) 処遇改善等の実施状況

- 放課後児童支援員等処遇改善事業の活用状況については、「活用していない」が 45.7%で最も多く、次いで「一部活用している」が 27.2%、「満額活用している」が 20.7%となっている
- 放課後児童支援員キャリアアップ処遇改善事業の活用状況については、「活用していない」が 48.3%で最も多く、次いで「満額活用している」が 34.5%、「一部活用している」が 8.2%となっている

①放課後児童支援員等処遇改善事業の活用状況



②放課後児童支援員キャリアアップ処遇改善事業の活用状況

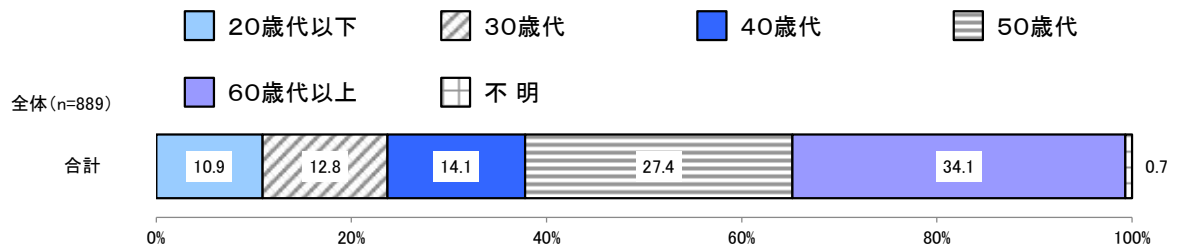


## 2. 児童クラブ支援員調査

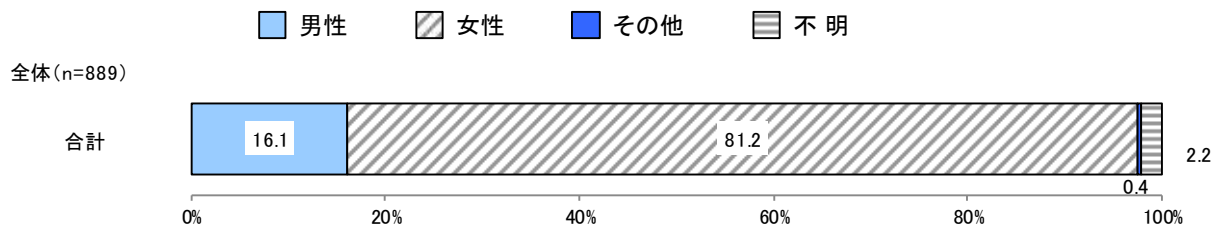
### (1) 回答者の基本属性

- 回答者の年代は、「60歳代以上」が34.1%で最も多く、次いで「50歳代」が27.4%が多い
- 性別は、「男性」が16.1%、「女性」が81.2%となっている
- 家計の主たる生計者は、「配偶者」が50.4%で最も多く、次いで「自身」が32.5%が多い

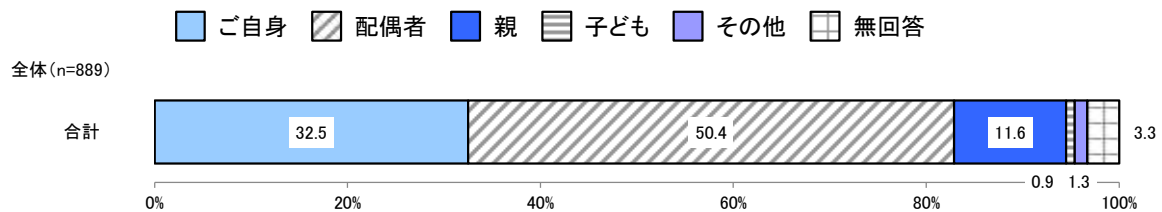
#### ①年代



#### ②性別



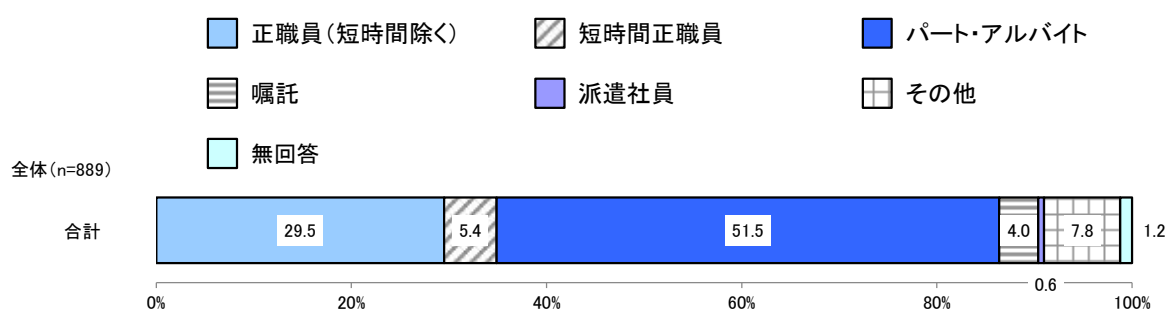
#### ③家計の主たる生計者



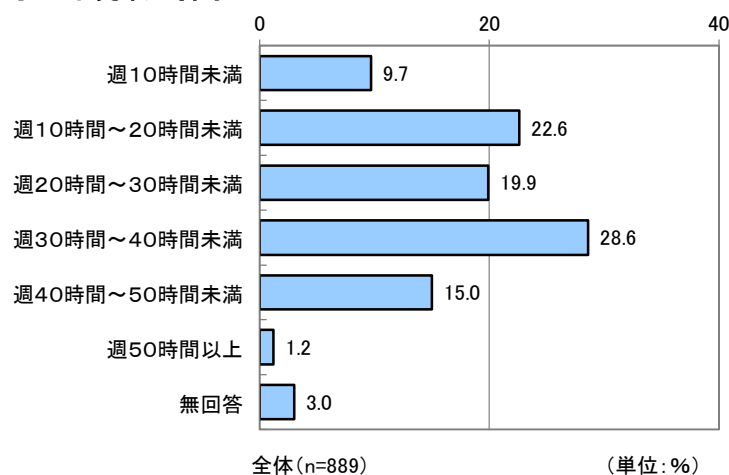
## (2) 現在の就業先の状況

- 現在の雇用形態は、「パート・アルバイト」が51.5%で最も多く、「正職員(短時間除く)」が29.5%が多い
- 1週間当たりの平均的な労働時間は、「週30時間～40時間未満」が28.6%で最も多く、次いで「週10時間～20時間未満」が22.6%、「週20時間～30時間未満」が19.9%となっている
- 1週間当たりの平均的な残業時間は、「週1時間未満」が64.1%で最も多く、次いで「週1時間～4時間未満」が20.2%が多い

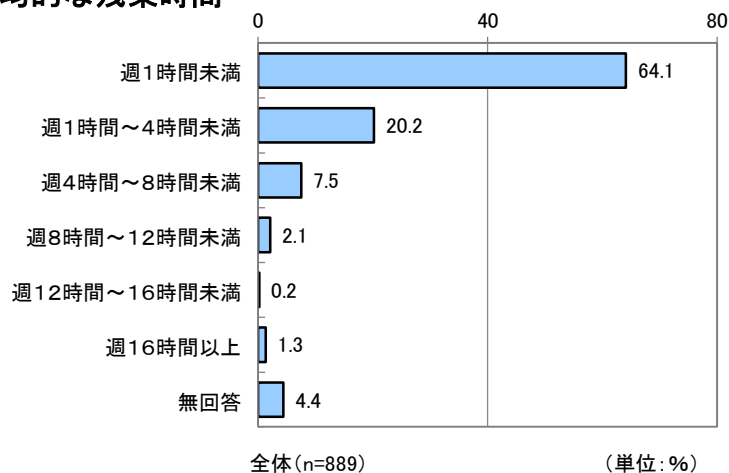
### ①現在の雇用形態



### ②1週間当たりの平均的な労働時間

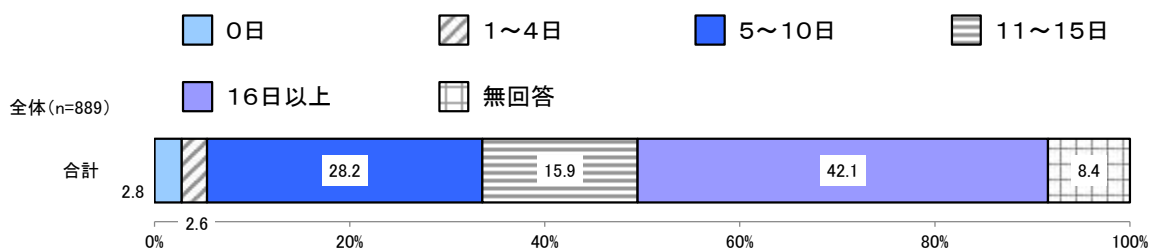


### ③1週間当たりの平均的な残業時間

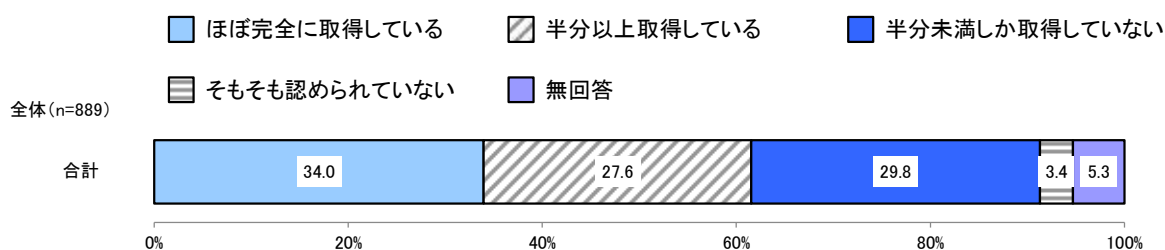


- 取得可能な有給休暇は、「16日以上」が42.1%で最も多く、次いで「5～10日」が28.2%が多い
- 有給休暇の取得状況は、「ほぼ完全に取得している」が34.0%で最も多く、次いで「半分未満しか取得していない」が29.8%が多い
- 年収ベースの給与は、「103万円～200万円未満」が34.1%で最も多く、次いで「200万円～300万円未満」が27.3%、「103万円未満」が23.3%となっている

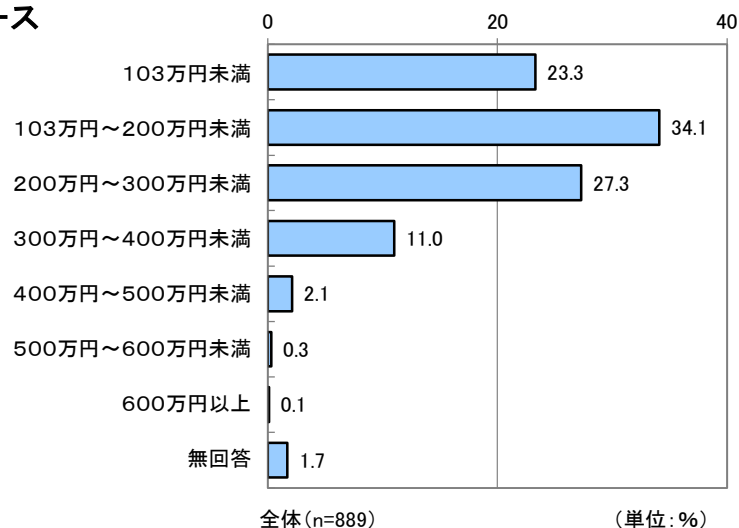
#### ④-1 取得可能な有給休暇



#### ④-2 有給休暇の取得状況



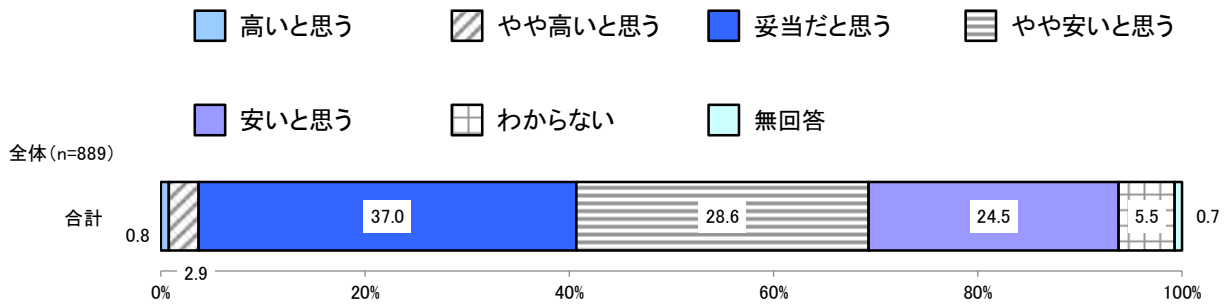
#### ④-3 給与年収ベース



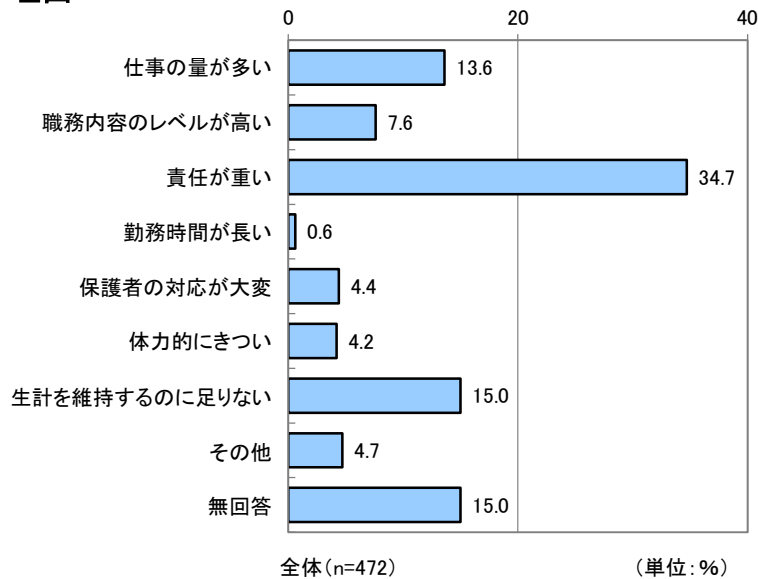


- 給与の妥当性は、「妥当だと思う」が37.0%で最も多いが、「やや安いと思う（28.6%）」と「安いと思う（24.5%）」を合わせると、半数以上が安いと思っている
- 給与を安いと思う理由は、「責任が重い」が34.7%で最も多く、次いで「生計を維持するのに足りない」が15.0%、「仕事の量が多い」が13.6%となっている
- 給与にあといくら上乗せがあれば妥当かは、「5万円／月～10万円／月未満」が29.9%で最も多く、次いで「1万円／月～3万円／月未満」が25.2%で多い

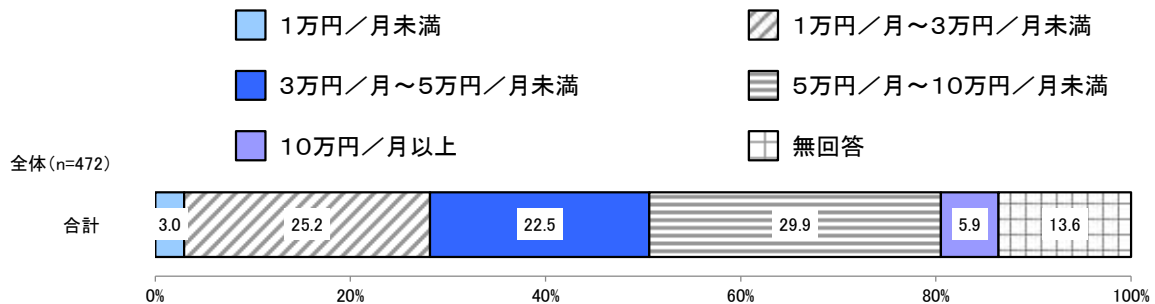
#### ④-4 給与の妥当性



#### ④-5 安いと思う理由



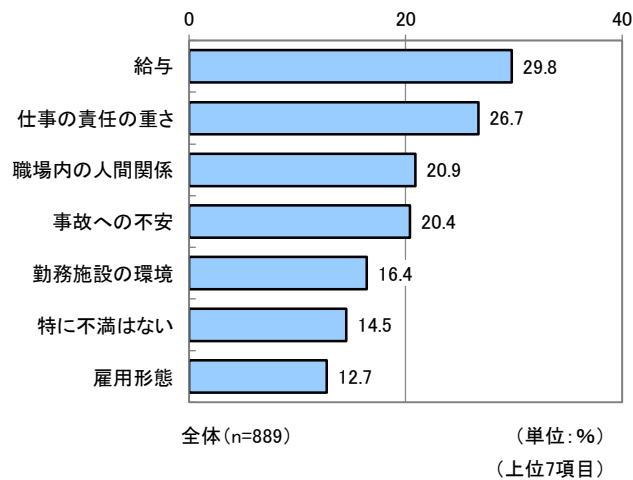
#### ④-6 あといくら上乗せがあれば妥当か



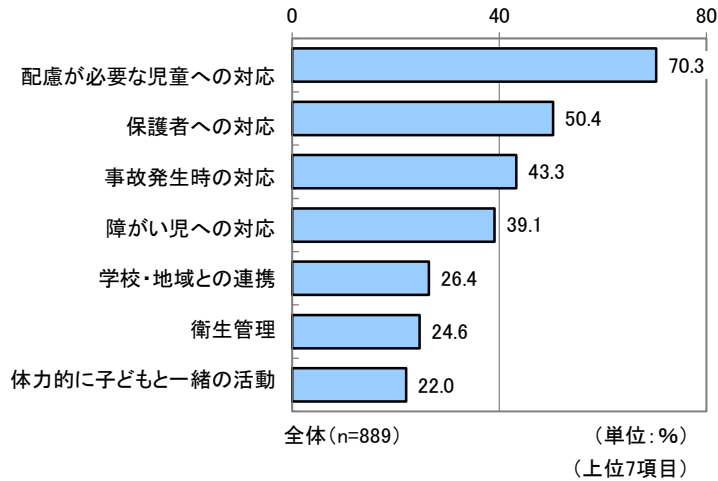
## 【2 児童クラブ支援員調査】

- 労働条件や労働環境についての不満は、「給与」が29.8%で最も多く、次いで「仕事の責任の重さ」が26.7%、「職場内の人間関係」が20.9%、「事故への不安」が20.4%となっている
- 現場での悩みは、「配慮が必要な児童への対応」が70.3%で最も多く、次いで「保護者への対応」が50.4%、「事故発生時の対応」が43.3%、「障がい児への対応」が39.1%となっている

### ⑤労働条件や労働環境についての不満



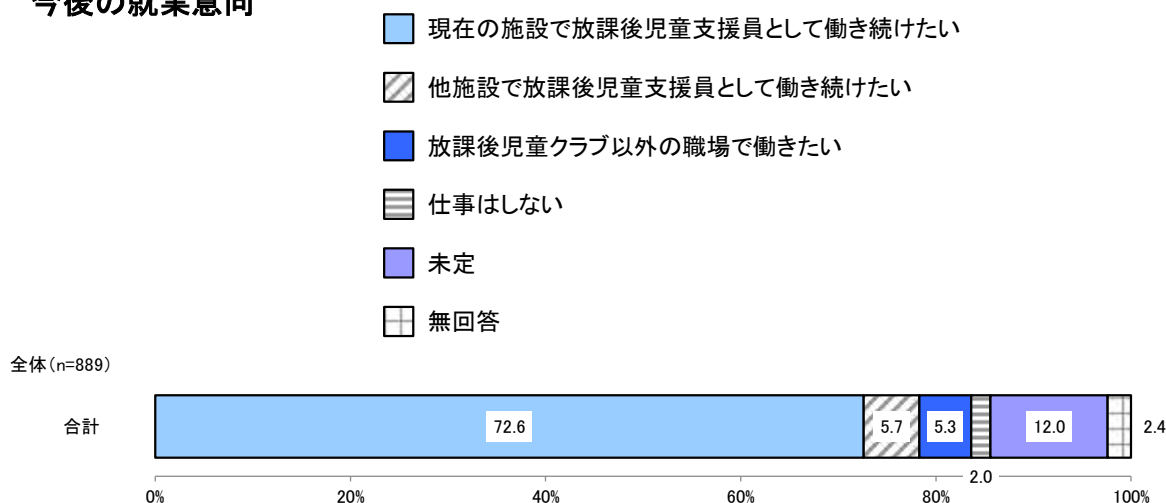
### ⑥現場での悩み



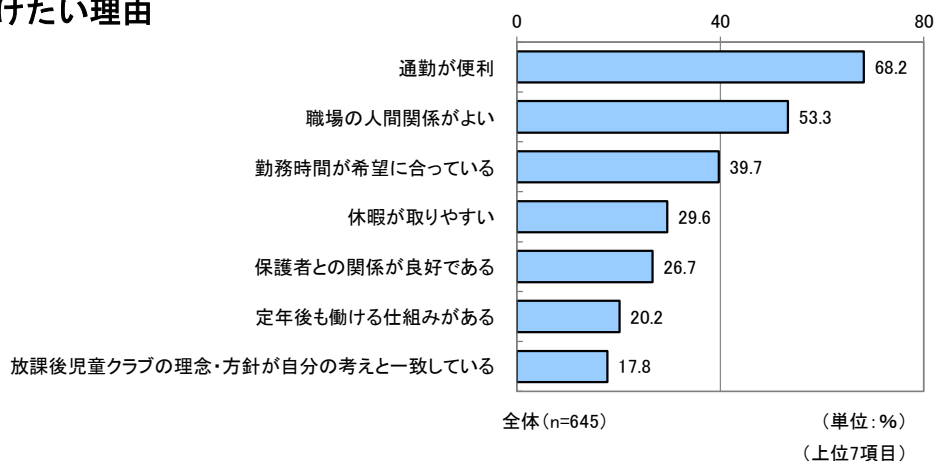
【2 児童クラブ支援員調査】

- 今後の就業意向は、「現在の施設で放課後児童支援員として働きたい」が72.6%で最も多く、次いで「未定」が12.0%が多い
- 働きたい理由は、「通勤が便利」が68.2%で最も多く、次いで「職場の人間関係がよい」が53.3%、「勤務時間が希望に合っている」が39.7%となっている
- 「他の施設で働きたい」「他の職場で働きたい」「仕事はしない」理由では、「放課後児童支援員以外の他の職種への興味・関心」が26.7%で最も多く、次いで「他施設への興味」が25.9%、「責任の重さ、命を預かることへの不安」が25.0%となっている

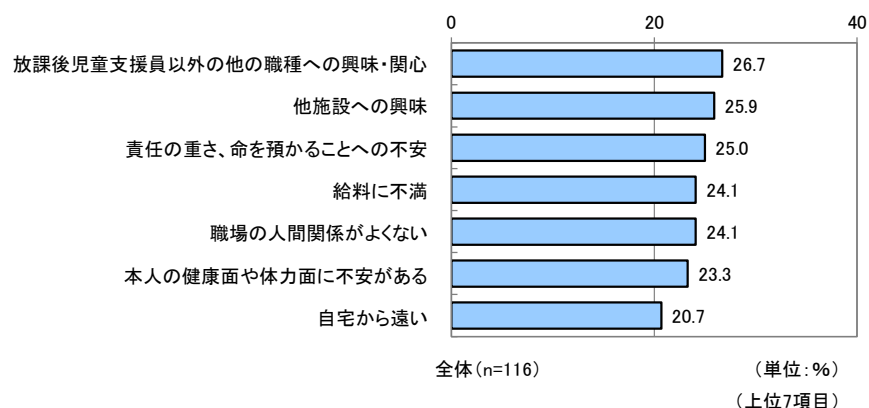
⑦-1 今後の就業意向



⑦-2 働きたい理由



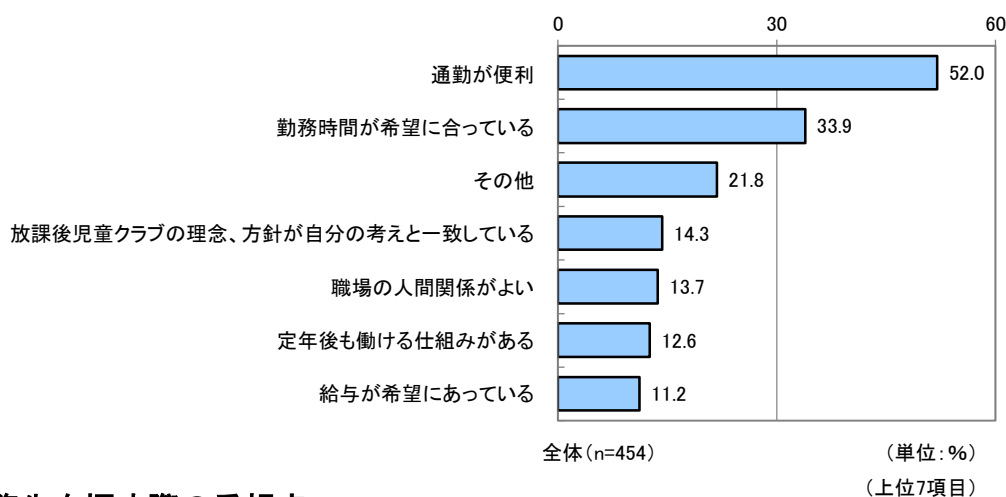
⑦-3 「他の施設で働きたい」「他の職場で働きたい」「仕事はしない」理由



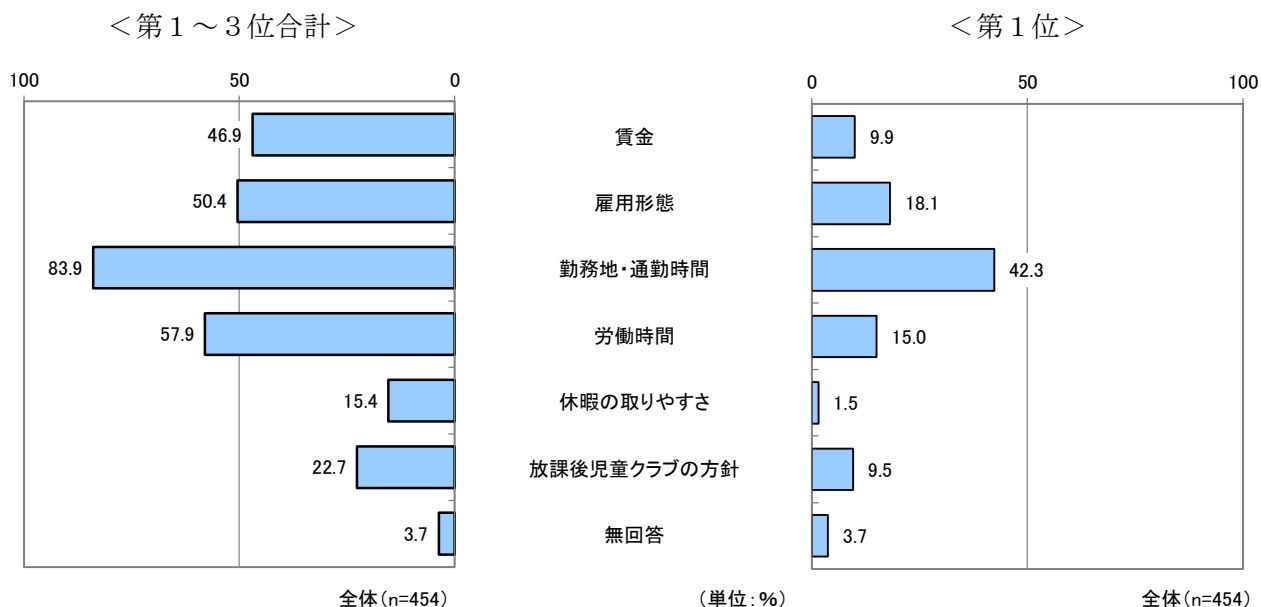
### (3) 退職経験者の実態

- 現在の勤務先を選んだ理由は、「通勤が便利」が52.0%で最も多く、次いで「勤務時間が希望に合っている」が33.9%、「その他」が21.8%となっている
- 勤務先を探す際の重視点は、第1～3位合計で見ると「勤務地・通勤時間」が83.9%で最も多く、次いで「労働時間」が57.9%で続く。第1位では「勤務地・通勤時間」が42.3%で最も多い

#### ①現在の勤務先を選んだ理由



#### ②勤務先を探す際の重視点

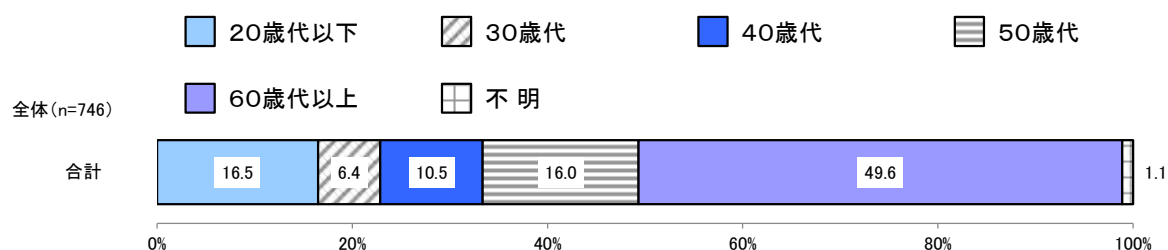


### 3. 児童クラブ補助員調査

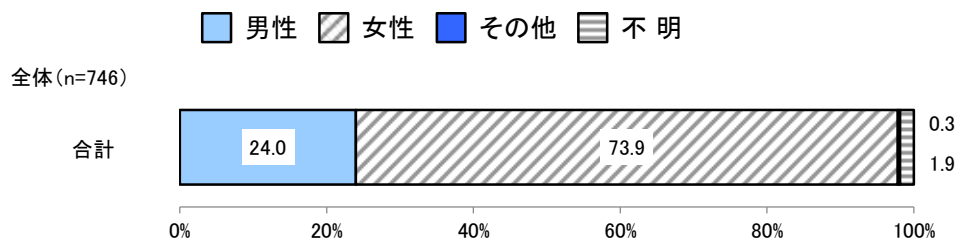
#### (1) 回答者の基本属性

- 回答者の年代は、「60歳代以上」が49.6%で最も多く、次いで「20歳代以下」が16.5%が多い
- 性別は、「男性」が24.0%、「女性」が73.9%となっている
- 家計の主たる生計者は、「配偶者」が46.5%で最も多く、次いで「自身」が31.4%が多い

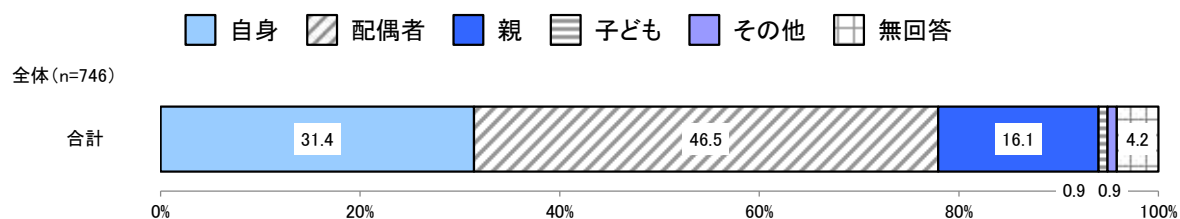
#### ①年代



#### ②性別



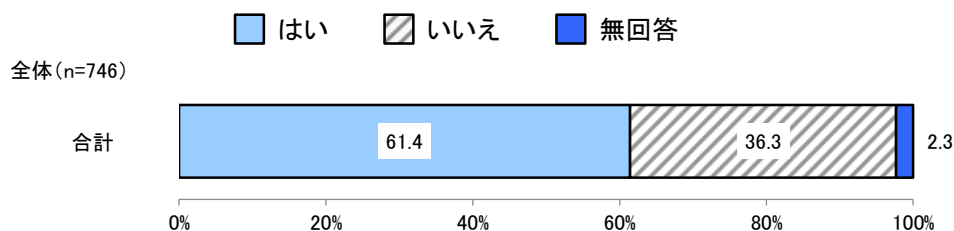
#### ③家計の主たる生計者



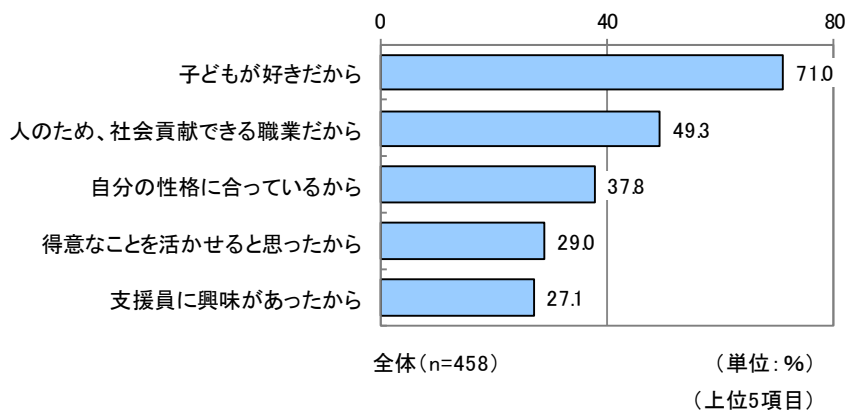
【3 児童クラブ補助員調査】

- 放課後児童支援員になろうと思うかは、「はい」が61.4%、「いいえ」が36.3%となっている
- 放課後児童支援員になろうと思う理由は、「子どもが好きだから」が71.0%で最も多く、次いで「人のため、社会貢献できる職業だから」49.3%、「自分の性格に合っているから」が37.8%となっている
- 放課後児童支援員になろうと思わない理由は、「本人の健康面や体力面に不安がある」が32.8%、次いで「他の職種への興味・関心」が25.1%、「自分の適性、能力への不安」が23.6%となっている

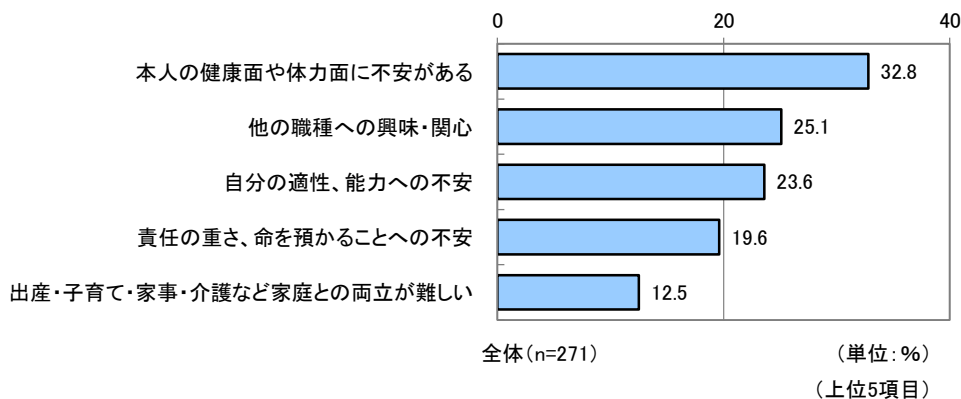
④放課後児童支援員になろうと思うか



⑤放課後児童支援員になろうと思う理由



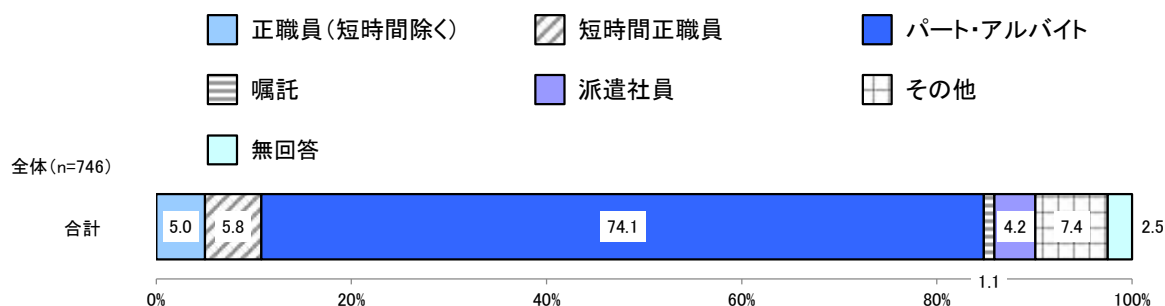
⑥放課後児童支援員になろうと思わない理由



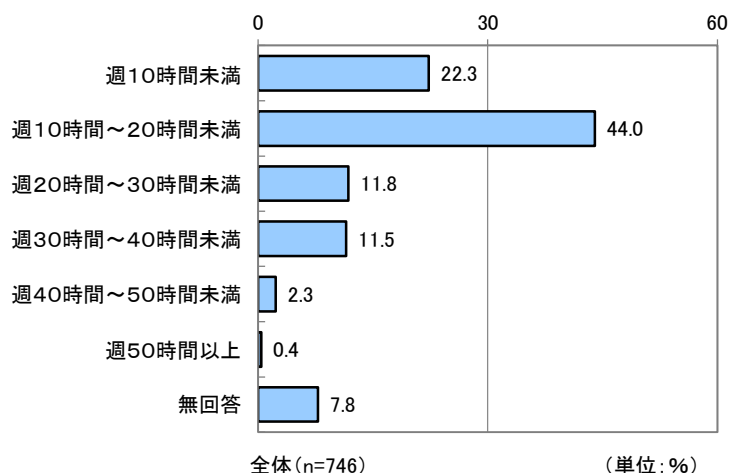
## （2）現在の就業先の状況

- 現在の雇用形態は、「パート・アルバイト」が74.1%で最も多く、次いで「その他」が7.4%が多い
- 1週間あたりの平均的な労働時間は、「週10時間～20時間未満」が44.0%で最も多く、次いで「週10時間未満」が22.3%、「週20時間～30時間未満」が11.8%となっている
- 1週間あたりの平均的な残業時間は、「週1時間未満」が71.6%で最も多く、次いで「週1時間～4時間未満」が8.6%、「週4時間～8時間未満」が2.0%となっている

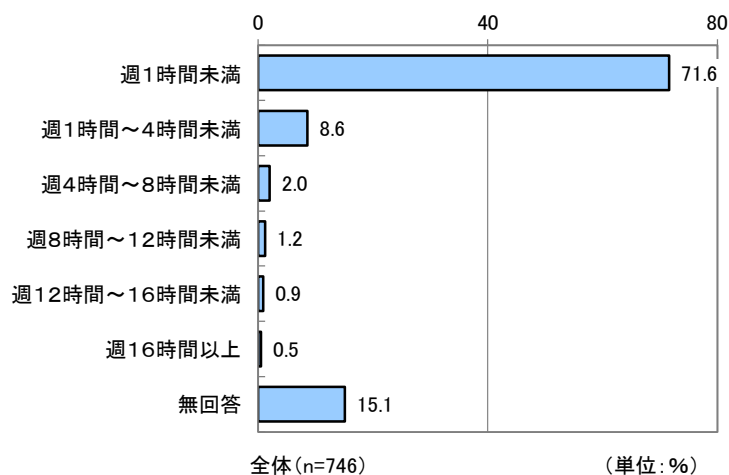
### ①現在の雇用形態



### ②1週間あたりの平均的な労働時間



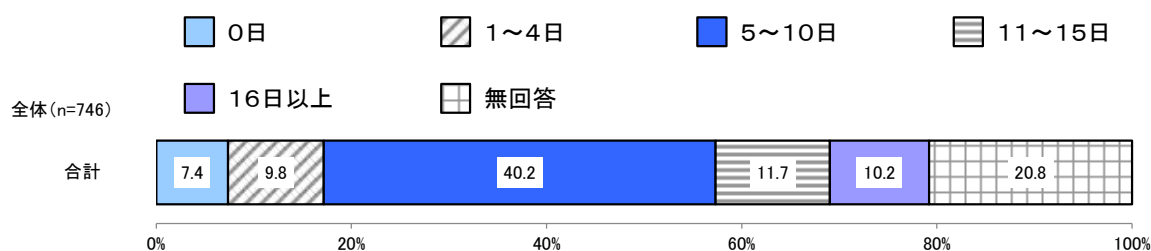
### ③1週間あたりの平均的な残業時間



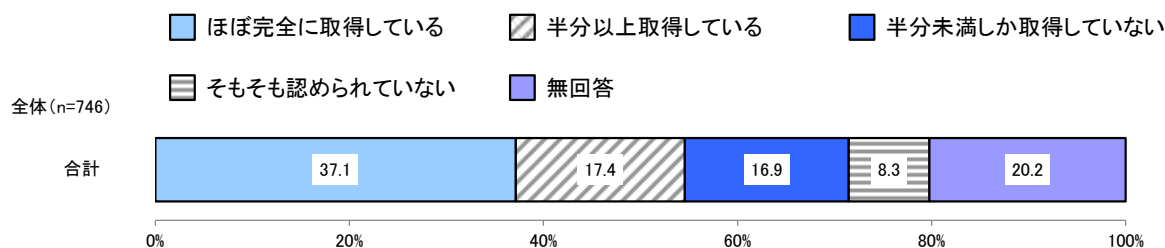
【3 児童クラブ補助員調査】

- 取得可能な有給休暇は、「5～10日」が40.2%で最も多く、次いで「11～15日」が11.7%が多い
- 有給休暇の取得状況は、「ほぼ完全に取得している」37.1%で最も多く、次いで「半分以上取得している」が17.4%が多い
- 年収ベースの給与は、「103万円未満」が68.1%で最も多く、次いで「103万円～200万円」が22.4%が多い

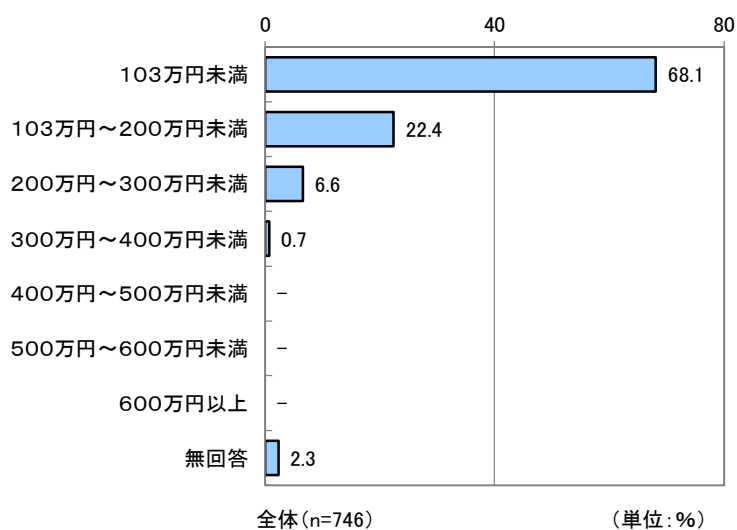
④-1 取得可能な有給休暇



④-2 有給休暇の取得状況



⑤-1 給与年収ベース

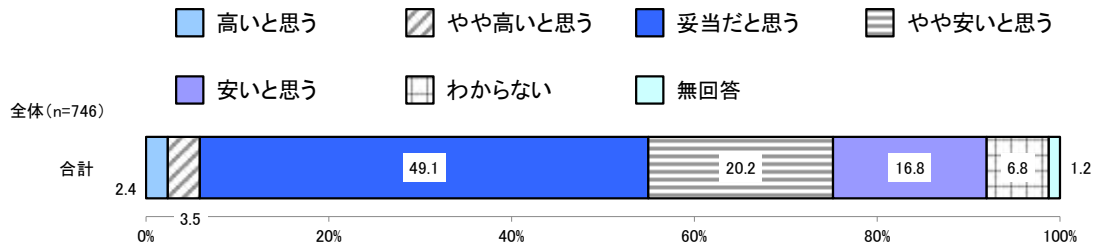




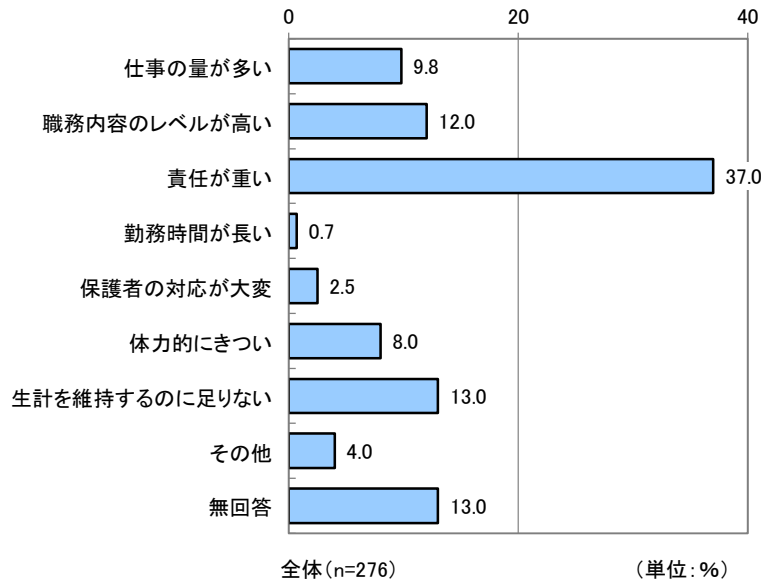
【3 児童クラブ補助員調査】

- 給与の妥当性は、「妥当だと思う」が49.1%で最も多く、次いで「やや安いと思う」が20.2%が多い
- 給与を安いと思う理由は、「責任が重い」が37.0%で最も多く、次いで「生計を維持するのに足りない」が13.0%、「業務内容のレベルが高い」が12.0%となっている
- 給与にあといくら上乗せがあれば妥当かは、「1万円/月～3万円/月未満」が34.8%で最も多く、次いで「3万円/月～5万円/月未満」が24.6%が多い

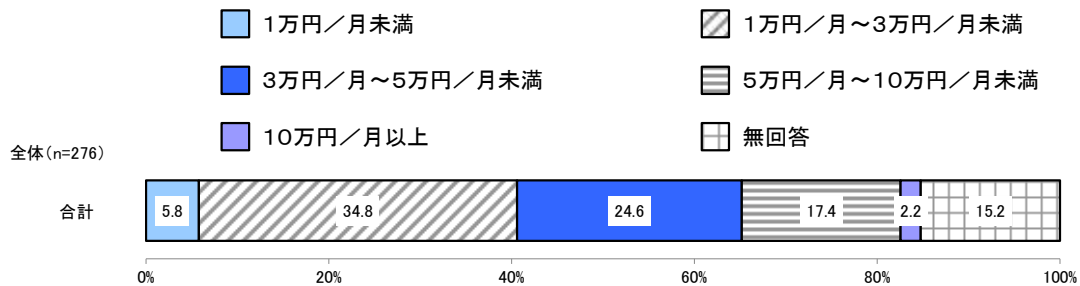
⑤-2 給与の妥当性



⑤-3 安いと思う理由



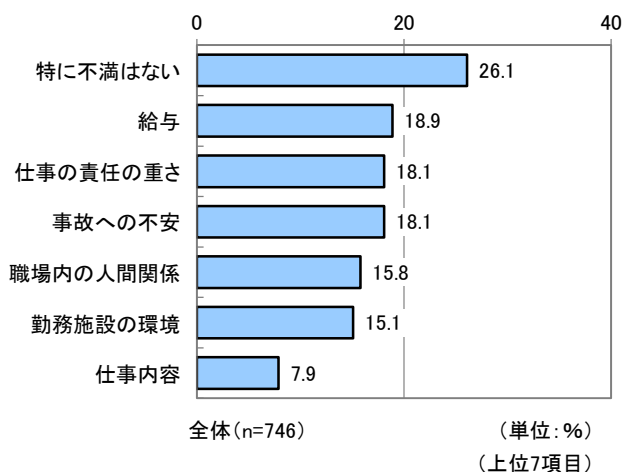
⑤-4 あといくら上乗せがあれば妥当か



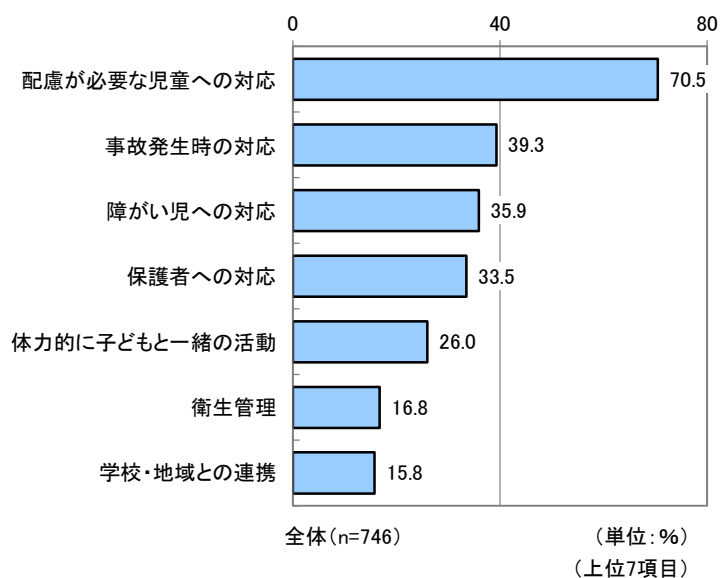
### 【3 児童クラブ補助員調査】

- 労働条件や労働環境についての不満については、「特に不満はない」が26.1%で最も多く、次いで「給与」が18.9%、「仕事の責任の重さ」と「事故への不安」が18.1%となっている
- 現場での悩みについては、「配慮が必要な児童への対応」が70.5%で最も多く、次いで「事故発生時の対応」が39.3%、「障がい児への対応」が35.9%、「保護者への対応」が33.5%となっている

#### ⑥労働条件や労働環境についての不満



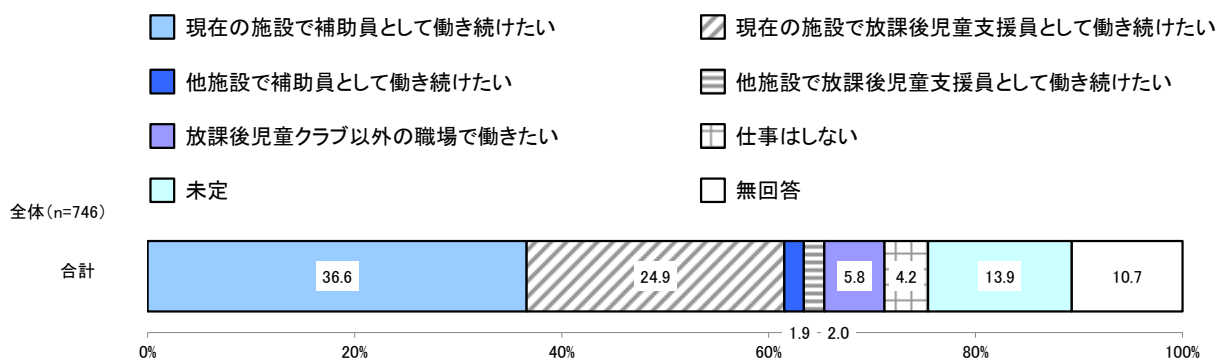
#### ⑦現場での悩み



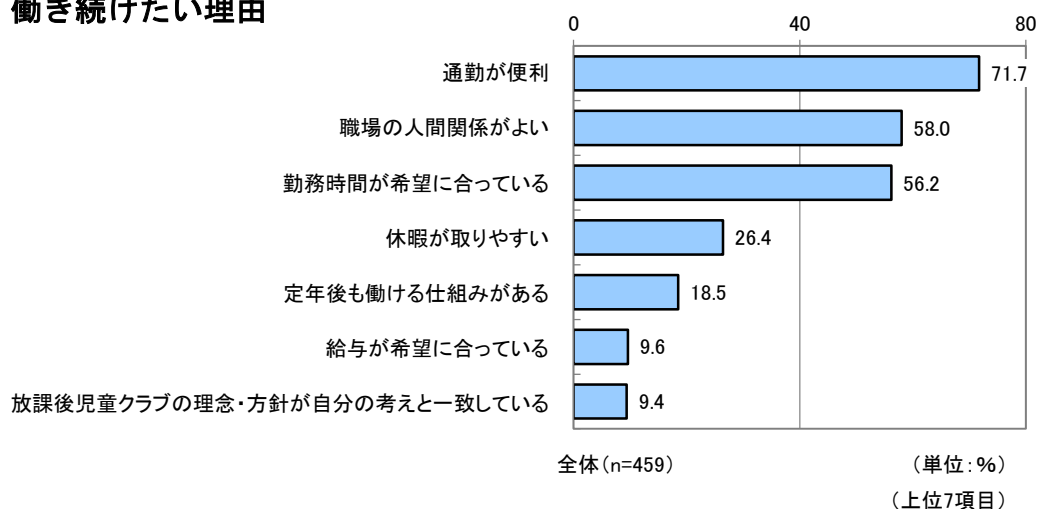
【3 児童クラブ補助員調査】

- 今後の就業意向は、「現在の施設で補助員として働きたい」が36.6%で最も多く、次いで「現在の施設で放課後児童支援員として働きたい」が24.9%が多い
- 働きたい理由は、「通勤が便利」が71.7%で最も多く、次いで「職場の人間関係がよい」が58.0%が多い
- 「他の施設で働きたい」「他の職場で働きたい」「仕事はしない」理由は、「放課後児童支援員以外の他の職種への興味・関心」が29.1%で最も多く、次いで「本人の健康面や体力面に不安がある」が24.3%が多い

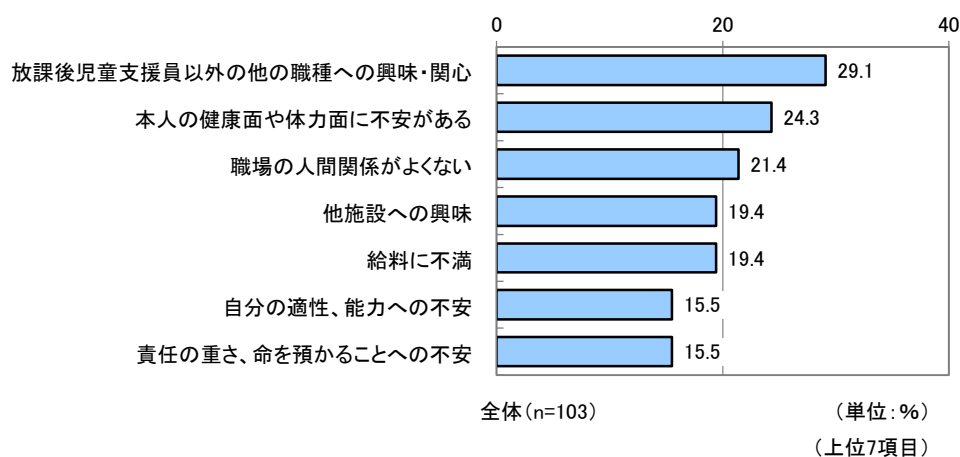
⑧-1 今後の就業意向



⑧-2 働きたい理由



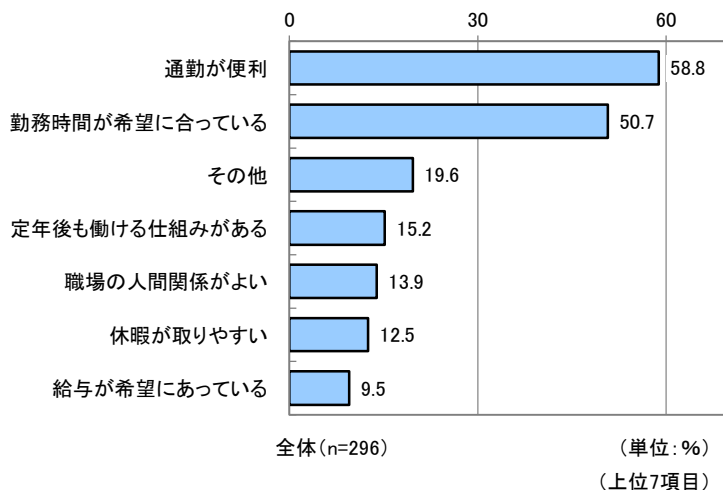
⑧-3 「他の施設で働きたい」「他の職場で働きたい」「仕事はしない」理由



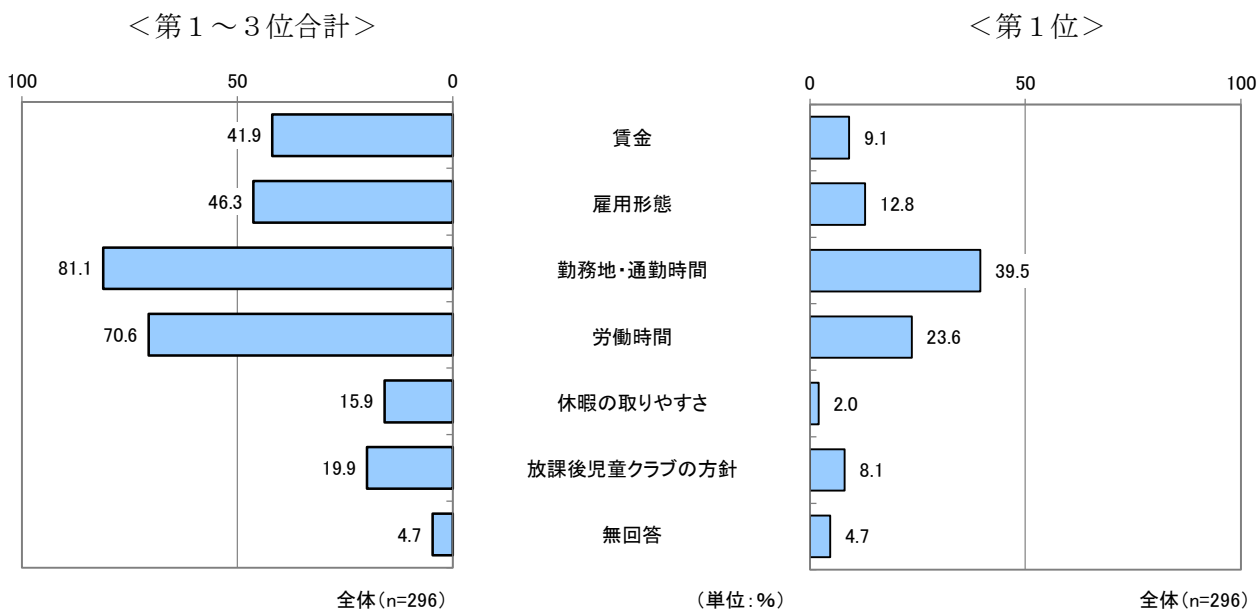
### (3) 退職経験者の実態

- 現在の勤務先を選んだ理由は、「通勤が便利」が58.8%で最も多く、次いで「勤務時間が希望に合っている」が50.7%、「その他」が19.6%となっている
- 勤務先を探す際の重視点は、第1～3位合計で見ると「勤務地・通勤時間」が81.1%で最も多く、次いで「労働時間」が70.6%で続く。第1位では「勤務地・通勤時間」が39.5%で最も多い

#### ①現在の勤務先を選んだ理由



#### ②勤務先を探す際の重視点

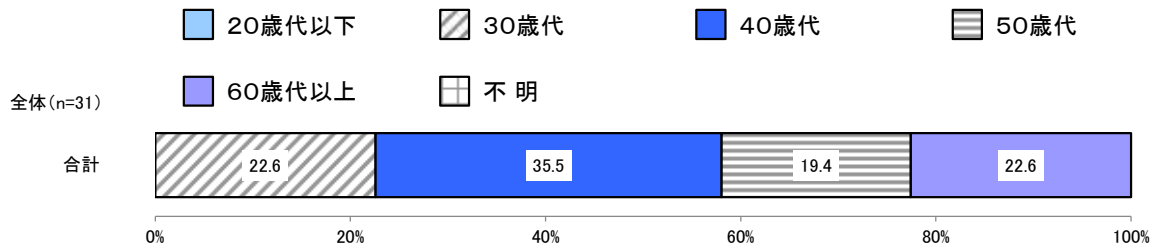


## 4. 児童クラブ事務員調査

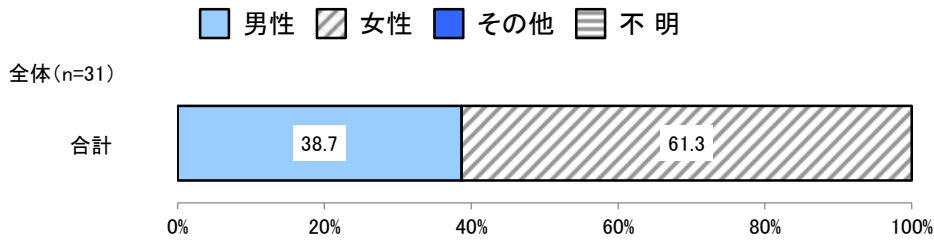
### (1) 回答者の基本属性

- 回答者の年代は、「40歳代」が35.5%で最も多く、次いで「30歳代」が22.6%が多い
- 性別は、「男性」が38.7%、「女性」が61.3%となっている
- 家計の主たる生計者は、「自身」が54.8%で最も多く、次いで「配偶者」が32.3%が多い

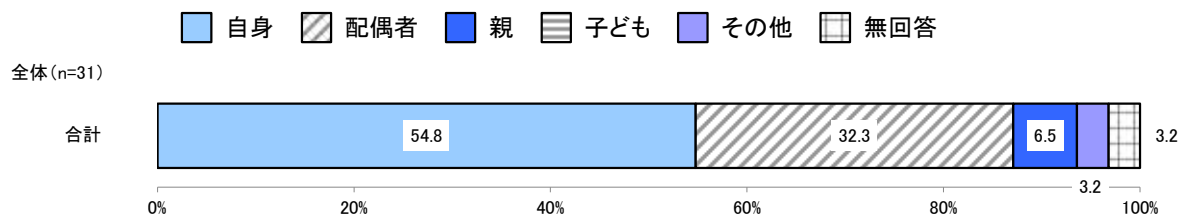
#### ①年代



#### ②性別



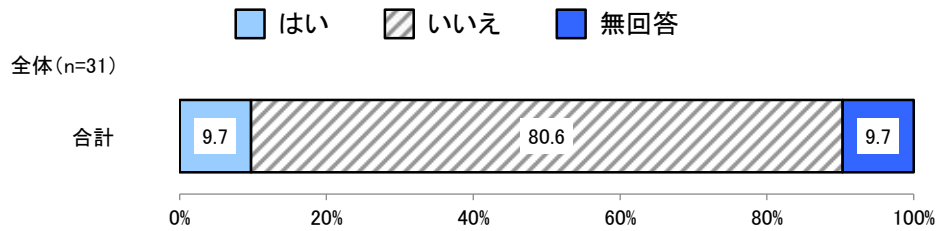
#### ③家計の主たる生計者



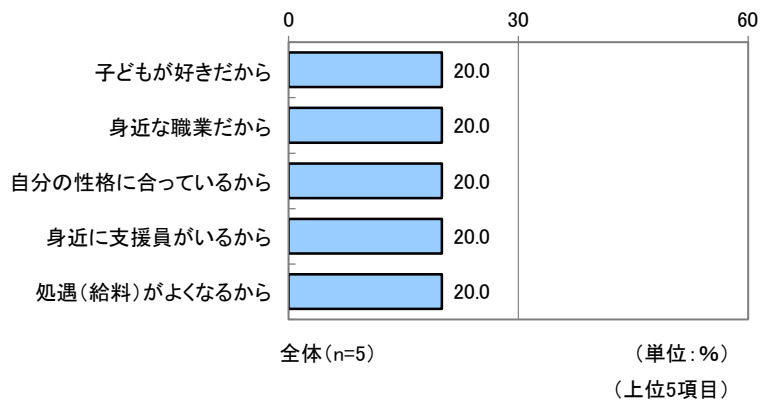
【4 児童クラブ事務員調査】

- 放課後児童支援員になろうと思うかは、「はい」が9.7%、「いいえ」が80.6%となっている
- 放課後児童支援員になろうと思う理由は、「子どもが好きだから」「身近な職業だから」「自分の性格に合っているから」「身近に支援員がいるから」「処遇（給料）がよくなるから」がそれぞれ20.0%で最も多い

④放課後児童支援員になろうと思うか



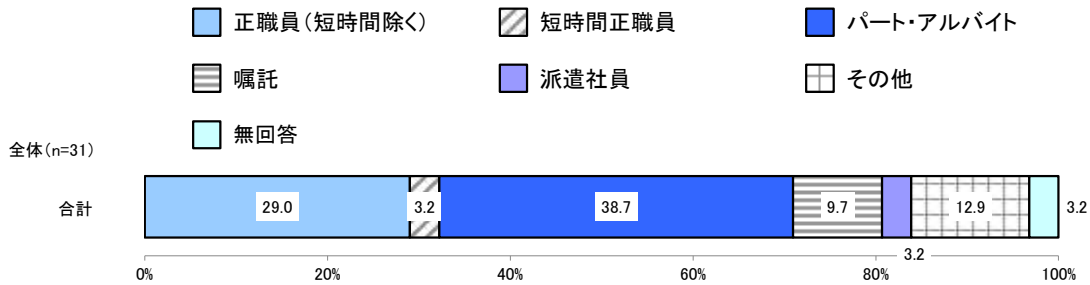
⑤放課後児童支援員になろうと思う理由



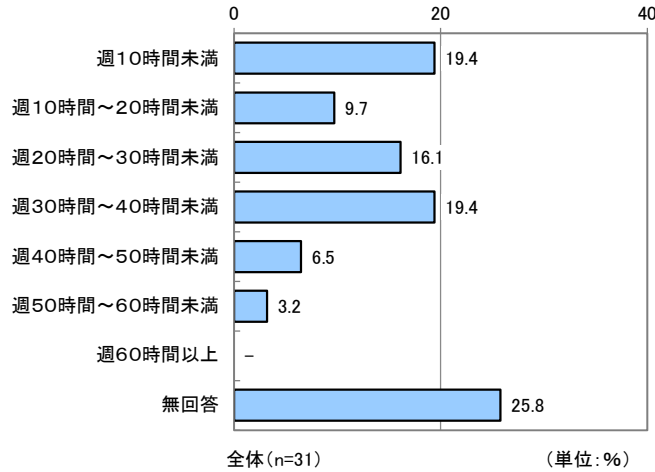
(2) 現在の就業先の状況

- 現在の雇用形態は、「パート・アルバイト」が38.7%で最も多く、次いで「正職員（短時間除く）」が29.0%が多い
- 1週間あたりの平均的な労働時間は、「週10時間未満」「週30時間～40時間未満」が19.4%で最も多く、次いで「週20時間～30時間未満」が16.1%が多い
- 1週間あたりの平均的な残業時間は、「週1時間未満」が58.1%、次いで「週1時間～4時間未満」が6.5%が多い

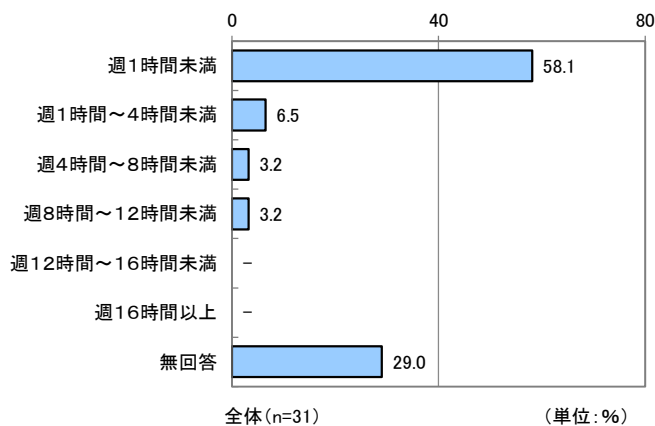
①現在の雇用形態



②1週間あたりの平均的な労働時間



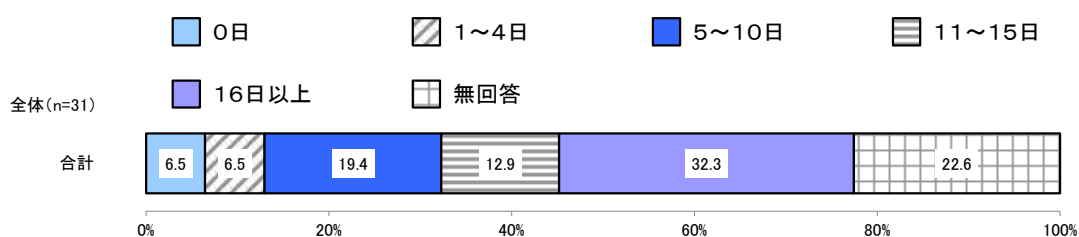
③1週間あたりの平均的な残業時間



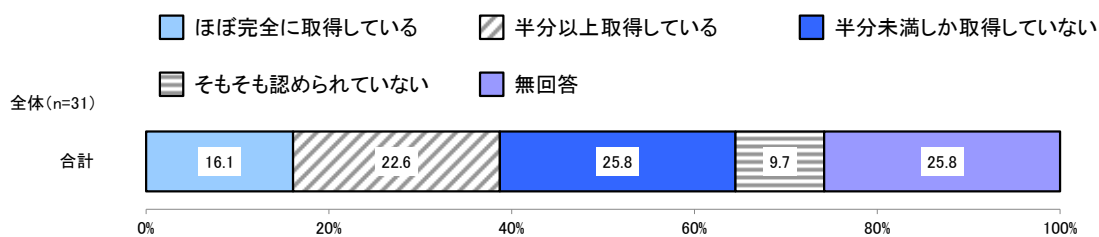
【4 児童クラブ事務員調査】

- 取得可能な有給休暇は、「16日以上」が32.3%で最も多く、次いで「5～10日」が19.4%が多い
- 有給休暇の取得状況は、「半分未満しか取得していない」が25.8%で最も多く、次いで「半分以上取得している」が22.6%が多い
- 年収ベースの給与は、「103万円未満」が48.4%で最も多く、次いで「300万円～400万円未満」が19.4%が多い

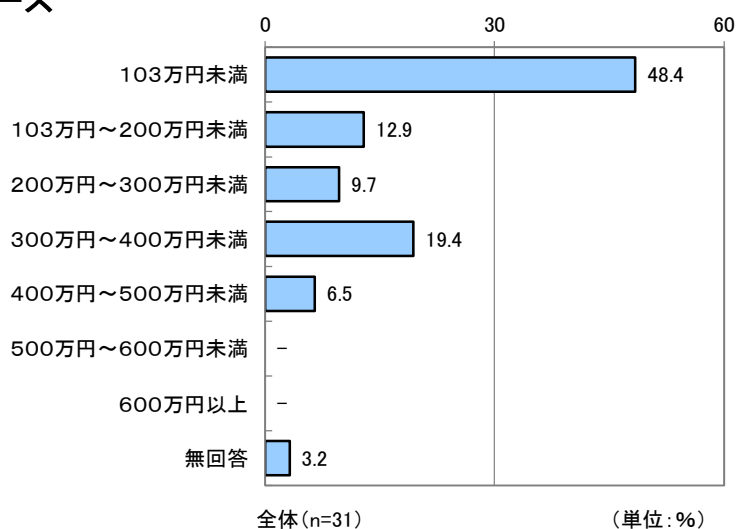
④-1 取得可能な有給休暇



④-2 有給休暇の取得状況



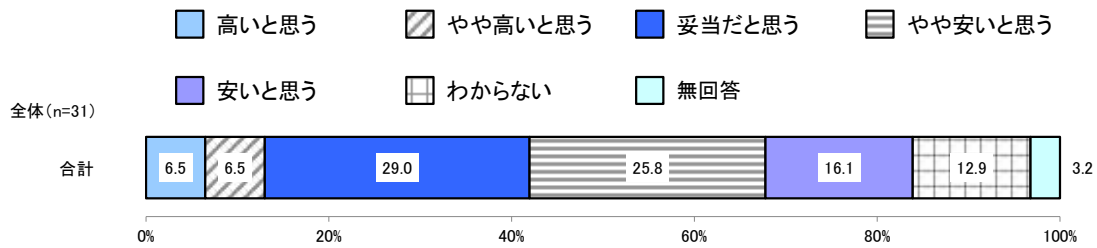
⑤-1 給与年収ベース



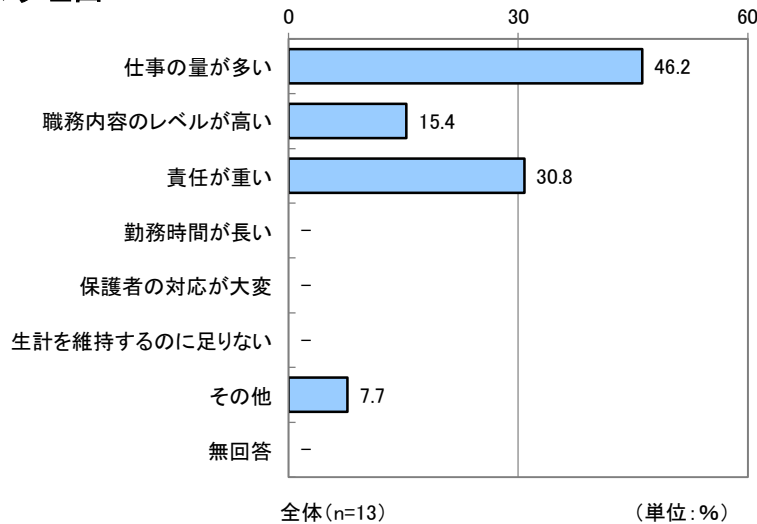


- 給与の妥当性は、「妥当だと思う」が29.0%で最も多く、次いで「やや安いと思う」が25.8%が多い
- 給与を安いと思う理由は、「仕事の量が多い」が46.2%で最も多く、次いで「責任が重い」が30.8%が多い
- 給与にあといくら上乗せがあれば妥当かは、「1万円/月～3万円/月未満」が53.8%で最も多く、次いで「5万円/月～10万円/月」が30.8%が多い

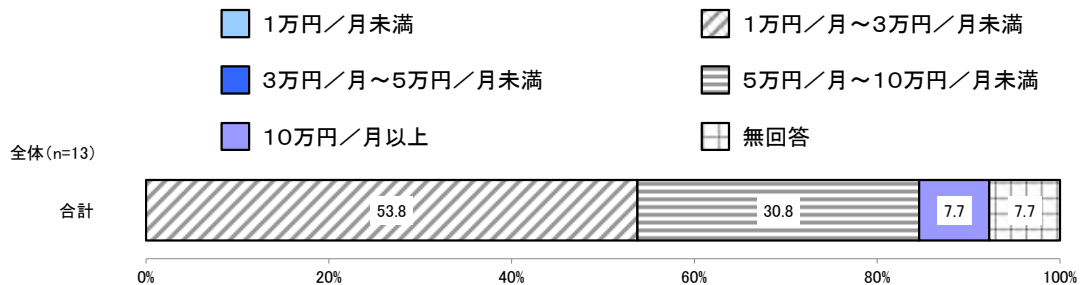
⑤-2 給与の妥当性



⑤-3 安いと思う理由



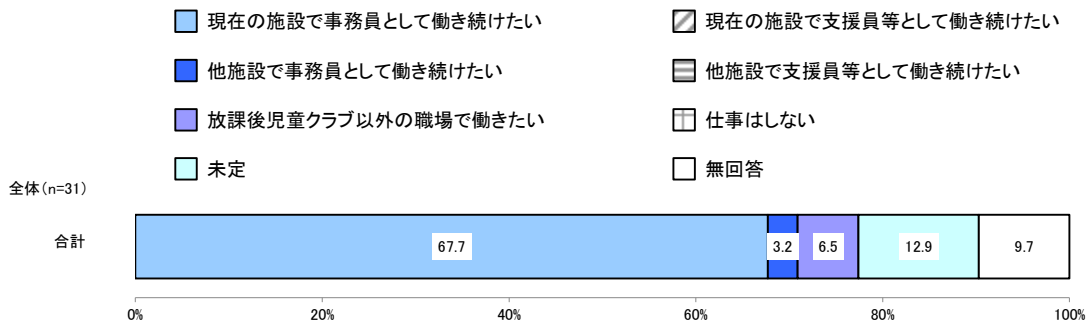
⑤-4 あといくら上乗せがあれば妥当か



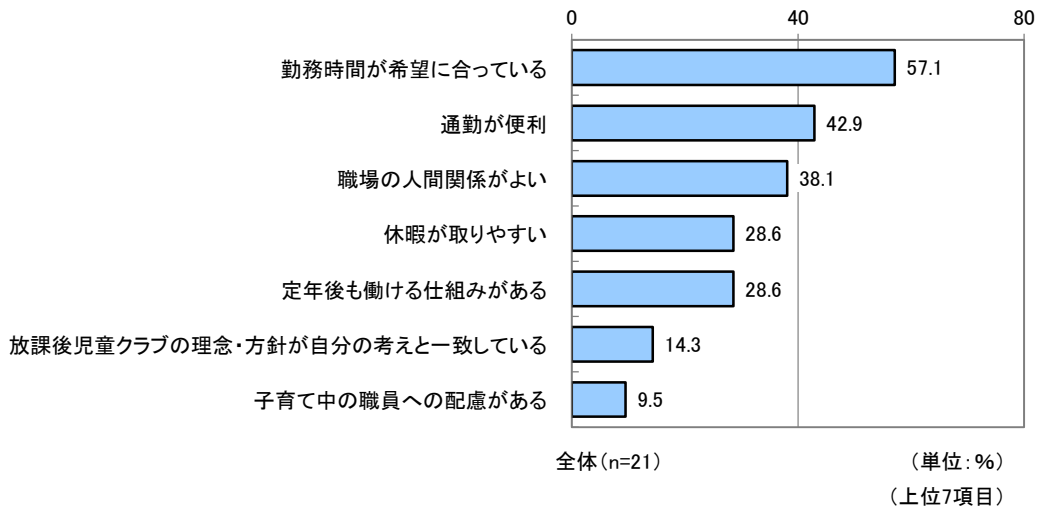
【4 児童クラブ事務員調査】

- 今後の就業意向は、「現在の施設で事務員として働きたい」が67.7%で最も多く、次いで「未定」が12.9%が多い
- 働きたい理由は、「勤務時間が希望に合っている」が57.1%で最も多く、次いで「通勤が便利」が42.9%、「職場の人間関係がよい」が38.1%となっている
- 「他の施設で働きたい」「他の職場で働きたい」「仕事はしない」理由は、「事務員以外の他の職種への興味・関心」「責任の重さ、命を預かることへの不安」「給料に不満」「勤務時間に不満」「自宅から遠い」がそれぞれ33.3%となっている

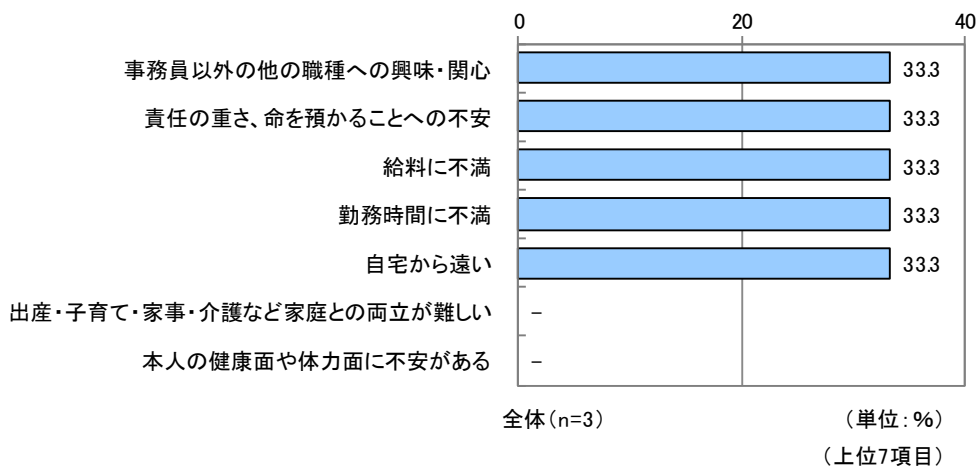
⑥-1 今後の就業意向



⑥-2 働きたい理由



⑥-3 「他の施設で働きたい」「他の職場で働きたい」「仕事はしない」理由





---

放課後児童クラブ実態調査報告書

令和3年10月

発行：滋賀県 健康医療福祉部 子ども・青少年局

子育て支援室 子育て支援係

滋賀県大津市京町四丁目1番1号 TEL：077-528-3553